

2021 年度三重大学人文学部における

F D 活 動

報 告 書

2022 年(令和 4 年)3 月

三重大学人文学部

目 次

I. F D研修会（6月F D研修会）	1
II. 学部生による「授業改善のためのアンケート」	6
1. アンケートの概要	6
2. 分析結果	29
III. 教員による「授業に関するアンケート」	32
1. アンケートの概要	32
2. 分析結果	32
IV. 大学院に関するF D活動.....	43
1. 大学院生による「授業改善のためのアンケート」	43
2. 「三重の文化と社会」報告会、修士論文発表会への教員の参加.....	43
V. 教員による「F D活動に関するアンケート」	47
1. アンケートの概要	47
2. 分析結果	47
巻末資料 2021年度F D委員会年間活動.....	51

I. FD研修会（6月FD研修会）

日時：2021年6月9日（水）14:00~15:00

テーマ：2020年度授業アンケートの自己分析とそれにもとづく改善方法およびその他

文化学科では、従来カリキュラム単位で実施していた研修会を、以下のように2グループに編成して（前年度と異なる組み合わせで）実施した。法律経済学科では、コースごとに実施した。なお、オンラインでの実施である。

グループA：日本+アメリカ

グループB：アジア・オセアニア+ヨーロッパ・地中海

グループC：法政コース

グループD：現代経済コース

また、法律経済学科は、専門PBLセミナーについての研修会も兼ねて実施した。各グループごとの研修の概要は以下の通りである。なお、文化学科の報告は従来のカリキュラム単位でなされた。

－文化学科の報告－

(1) 2021年度FD定例研修会報告書 6月分

記録者（川口敦子）

カリキュラム単位	日本地域		
実施日時	6月9日 14:20~15:00 (日本地域の報告は14:20~14:36)	場所	オンライン (Zoom)
出席者氏名 出席 (11名) 欠席 (名)	小澤、亀田、川口、塚本、遠山、永谷、森、開、山田、吉丸、吉村		

研修内容	授業アンケートに基づく分析をはじめとするこれからの授業のあり方
報告者	遠山敦

報告の概要	<p>初めてのオンライン授業という観点から、2020 年度前期開講科目「日本の思想 C」「倫理学 A」「日本思想演習 C」について報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom を使用。講義科目では「画面共有」で PowerPoint ファイルと資料 PDF を提示し、解説。演習科目では「画面共有」でレジュメと質問票の PDF を提示し、発表と質疑応答を実施。フィードバックを兼ねた出席確認、課題レポート、レジュメ、質問票の提出では Moodle を活用。 ・ 講義科目では、パソコンのモニタに語りかけるだけなので対面よりもペースが速くなってしまった。間合いの取り方が難しい。 ・ 学生の顔が見えないので、理解の度合いの推察が難しい。 ・ PowerPoint 資料の作成の労力が大きく、その資料を前日までに提示して欲しいとの要求があり、授業準備に大いに苦労した。 ・ 演習科目では、対面時よりもコミュニケーションの取り方が難しく、学生が議論を進めることに抵抗感があるように感じられた。 ・ 事前に Moodle に資料を提示することで事前学習を熱心にする学生がいたり、質問や感想がより活用しやすかったので、対面授業になっても Moodle の活用は継続したい。 ・ 今年度のハイブリッド授業では、パソコンを持参しない学生に対して紙資料の配付をどのようにするべきか。
議論の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint を前日までに用意するのが大変という点について、PowerPoint 資料は配付せず、板書扱いにして当日の授業中で提示するだけにして、学生にはノートを取らせた。学生がノートを取っているのを待つことで、授業のペース配分も調節できる。 ・ 配付資料に書き込みたいという学生もいるが、それもノートでメモを取るように言う。 ・ ノートを取る形式にすると、授業中の居眠りや「ながら受講」を抑制することができる。
資料	

(2) 2021 年度 FD 定例研修会報告書 6 月分 記録者(深田 淳太郎)

カリキュラム単位	アジア・オセアニア地域、ヨーロッパ・地中海地域		
実施日時	6 月 9 日 14:00～15:00	場所	Zoom
出席者氏名 出席 (7 名) 欠席 (名)	安食、久間、酒井、湯浅、三根、藤田、深田		

研修内容	授業アンケートに基づく分析をはじめとするこれからの授業のあり方
報告者	安食 和宏
報告の概要	昨年度の専門教育の「アジア・オセアニアの風土と地誌A」、および教養教育の「人文地理学A」のアンケート結果について報告があった。総合評価はオンラインのせいかは分からないが少し下がった。オンラインになったことで特に授業内容や資料は変えていない。むしろ見直ししたため、授業内容としては充実したはず。アンケート評価の解釈は難しいが、1年生は、オンラインへの心理的抵抗が大きく、今後もオンラインで受講したいかどうかについてもマイナスだった。オンラインにより教育効果が下がったという感じはしない（演習は除いて）。
議論の概要	成績評価の方法、学生とのやりとり、フィードバックについて、質問があった。そして、オンライン講義の進め方についても、質問が出て議論が交わされた。
資料	

(3)2021年度FD定例研修会報告書 6月分

記録者(赤岩 隆)

カリキュラム単位	ヨーロッパ・地中海		
実施日時	6月 9日 14:00~15:00	場所	ZOOM
出席者氏名 出席(8名) 欠席(1名)	服部 範子 村上 直樹 赤岩 隆 グットマン・ティエリー 野村 耕一 田中 綾乃 北川 真也 稲葉 瑛志 山本 覚		

研修内容	授業アンケートに基づく分析をはじめとするこれからの授業のあり方
報告者	稲葉 瑛志

報告の概要	「ドイツの文学E」について、授業計画及び2020年度の授業アンケート結果に基づき、報告者から詳細な報告がなされた。授業のやり方としては、ZOOMとオンデマンドを併用した。ZOOMによるオンラインを授業開始15分にあてて、質問に対する回答等受講者に向けたフィードバックに使った。オンデマンドで45分から60分の講義を行ない、毎時間、Moodle上にて課題を提出させた。授業アンケートの回収率は25パーセントにとどまったが、そのなかから解かることを個別の項目ごとにコメントし、それを本年度の授業計画にいかにか生かしているか具体的に報告があった。
議論の概要	受講者が28名と多いうえに、各回の授業において欠席者が少なかったことについて、また、毎回出される課題の提出率が高かったことも含めて、オンデマンドという形式との関係等の論点から議論がなされた。
資料	2020年度授業アンケート、その他授業の資料

(4) 2021年度FD定例研修会報告書 6月分

記録者 (立川陽仁)

カリキュラム単位	アメリカ、日本地域		
実施日時	6月 9日 14:00~15:00	場所	Zoom
出席者氏名 出席 (8 名) 欠席 (0 名)	立川、松岡、吉田、森脇、中川、江成、大厩、田畠		

研修内容	授業アンケートに基づく分析をはじめとするこれからの授業のあり方
報告者	松岡幹成
報告の概要	自身が昨年度おこなった「英語学演習U」(2~4年)の授業の内容と方法、アンケートの結果が紹介され、その結果をもとに自己分析がなされた。学生の満足度は高かったが、知識を生活に活かすという点が相対的に低評価だったことが反省点としてとりあげられた。また、最後にオンライン授業およびハイブリッド授業の意義と問題点についての指摘がなされた。

<p>議論の概要</p>	<p>都合によりあまり議論に時間が取れなかったが、そのなかで 2 つの質問があがった。授業アンケートで「知識を活用できた」という項目の評価が低かったが、それは言語学のテキストを使っているのだから活用できなくて当然ではないかというもので、気にする必要はとくにないのではないかという意見である。つぎに、オンライン授業にすることでかえって成績がよくなったという例はなかったかという質問があがったが、これに対しては演習に関しては当てはまらないが、講義のほうでは当てはまるものがあったということだった。</p>
<p>資料</p>	

II. 学部生による「授業改善のためのアンケート」

1. アンケートの概要

① 授業評価実施の目的と方法

三重大学では、前期・後期の各学期末に全学生を対象とした「授業アンケート」を実施している。これは、「学びの振り返りシート」と「授業改善のためのアンケート」の二部構成となっており、学生にとっては自ら得た学力を確認するデータ、教員にとっては授業改善を行う際の情報源となっており、毎年入力する「教員活動データベース」においても、当該アンケートの結果に基づいて行ったその年次の授業改善を記入する項目が設定されている。

さらに本学部では、学部として組織的に教育効果を高めることを目指し、定例FD研修会においてこのアンケート結果を活用し、授業改善のための情報共有や議論を行う素材としてきた。

学生の「授業アンケート」に基づく授業改善に当たっては、基本的に従来の方法を踏襲することで資料の継続性を維持するとともに、学生の自由な意見・感想の表明の機会となるように工夫を行ってきた。その一例がアンケート入力方法の改善であり、かつての紙媒体によるアンケートに替わり、2017年度からUNIPAを通じたWeb入力となり、さらにスマートフォンからの入力も可能となった。その結果、学生は自分が履修した全ての授業科目について、パソコンやスマートフォンからアンケートに回答することが可能となった。こうした方式の変更の背景には、学生のアンケート回答の手間が省けることから回答率が上昇することへの期待があった。しかし、これまでのFD活動報告書では、本学部におけるアンケート回答率の低さが問題視されてきた。

② 質問項目

学生自身への情報提供である「学びの振り返りシート」は、「I.あなたの学びに関する項目」、「II.地域に関する学びの項目」、「III.4つの力に関する項目①」、「IV.4つの力に関する項目②」から成り、「授業改善のためのアンケート」は、「V.教育改善の項目」、「VI.授業改善に関する記述欄」から成る。

I～IVについては、2020年度と比べて質問項目の変更はない。「V.教育改善の項目」は、学生の視点から授業をよりよくするための改善項目を項目リストから選択することになっている。「教員から指定のある項目」もここに含まれる。2020年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン授業への全面的な切り替えが生じたために、この部分のアンケート項目において、新たな質問が追加された。それらは、「この授業で利用された遠隔プラットフォーム、またはツールは何でしたか」、「この遠隔授業に関する次の質問にお答えください（4項目）」、「以下の項目を従来の対面式授業と比較して、この授業で自分にあてはまると思う選択肢を選んでください（9項目）」という質問項目である。2021年度もオンライン授業やハイブリッド授業が継続されたために、これらの質問の多くは維持された（一部削減あり）。そして2021年度には、その後に、教員へ質問できる仕組み、授業に

おける課題や、教員からのフィードバックに関する質問項目（5項目）が追加された。それから「VI.授業改善に関する記述欄」は、「先生に続けてほしいと思うこと」、「自分が先生だったらこうしたいと思うこと」をそれぞれ自由に記述する項目となっている。

なお今回の分析にあたっては、上記の「学びの振り返りシート」の中の「I.あなたの学びに関する項目」、および「授業改善のためのアンケート」の中の「V.教育改善の項目」を主な対象とした。

③ 分析対象科目

全学統一で実施される授業アンケートであるが、対象とする授業科目の選択は学部の判断にゆだねられてきた。本学部では基本的に通常の講義科目は全て対象とするが、アンケートの趣旨や学生の自由な意見・感想の表明の機会を確保するという点を踏まえ、従来、以下の原則を定めて実施してきた。

- 1) 専任教員および特任教員の担当する科目は原則として実施対象とするが、非常勤講師による授業は実施対象としない。それゆえ、集中講義についても実施しない。
- 2) 語学関係科目・演習科目は実施対象としない。
- 3) リレー講義については実施対象とする。
- 4) 資格科目の講義科目は実施対象としない。
- 5) 登録受講生数が3人未満の授業科目では実施しない。

かつて、紙媒体によるアンケート実施に際しては、上記原則に従って該当科目のみでアンケート用紙を配付していた。しかし、2017年度にWebアンケートが導入されたことにより、学生自身が履修している科目について回答・入力することになった。学部の原則がWebアンケートには反映されていないことから、学生の側では区別なく回答してきた。除外科目については、教員からの回答を促す指導はなされていないため、こうした科目を全て含んだ学部全体のアンケート回答率は当然低くなる。したがって、このアンケート回答率を他学部と比較する際には、こうした事情に配慮する必要があると、これまでのFD活動報告書でも指摘されてきた。

2021年度に至り、大学評価との関連で、授業アンケートの回答率を全学的に引き上げる必要があるという要請が入り、人文学部では教授会での承認を経て、上記の制限を撤廃し、2021年度後期より全ての授業科目をアンケートの対象として、全ての授業においてアンケートへの回答を促すことが決定した。

④ 分析結果の取り扱い

アンケートがWeb入力になるとともに、アンケート結果についても各教員がUNIPAを通して確認することが可能になった。学生の意見・乾燥が迅速かつ確実に伝えられることにより、各教員が担当する翌年度以降の授業改善に資することになっていると考える。

期間：2021/05/27（木）00:00～2021/07/30（金）23:59

対象人数(延べ数)：4913人 回答人数(延べ数)：1021人 回答率 20.8%

2021年度前期授業アンケート Review of STUDY in 2021 1st semester

この調査の目的は、学生が自らの学びを振り返り改善できるように、学びの履歴を提供すること、そして大学が教育を改善するための情報を得ることです。

以下の設問には、すべて、授業だけではなく、授業外学習も含めて、回答してください。

The purposes of this survey are 1) to offer students a record of progress in study so that they will be able to look back and improve our study, and 2) to collect information for the university to improve education.

学びの振り返りシート Review of Your Study

I あなたの学びに関する項目

Items on Your Study

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。

Please select the number which you think most applicable to each statement.

1 総合的に判断して、この授業に満足できた。 The class was satisfactory generally. (必須)	比率	人数	4.3点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	13人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	35人	
どちらともいえない／Neutral	8%	85人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	41%	421人	
あてはまる／Applicable	46%	467人	
2 授業内外の学習に取り組むために、シラバスを活用した。 I used the syllabus to tackle the study in and out of class. (必須)	比率	人数	3.1点
あてはまらない／Not at all applicable	16%	162人	
あまりあてはまらない／Not applicable	19%	195人	
どちらともいえない／Neutral	17%	176人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	30%	307人	
あてはまる／Applicable	18%	181人	
3 この授業の内容について理解できた。 I was able to understand the contents of the course. (必須)	比率	人数	4.1点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	9人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	33人	
どちらともいえない／Neutral	9%	91人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	54%	551人	
あてはまる／Applicable	33%	337人	
4 新しい知識・考え方・技術などが獲得できた。 New knowledge, thoughts and techniques were acquired. (必須)	比率	人数	4.4点
あてはまらない／Not at all applicable	0%	4人	
あまりあてはまらない／Not applicable	1%	14人	
どちらともいえない／Neutral	5%	55人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	43%	437人	
あてはまる／Applicable	50%	511人	
5 この授業の受講によって、学業への興味・関心（意欲）が高まった。 This course heightened your interest and desire for study. (必須)	比率	人数	4.2点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	10人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	31人	
どちらともいえない／Neutral	11%	109人	

ややあてはまる/Somewhat applicable		46%	470人	
あてはまる/Applicable		39%	401人	
6 この授業で学んだことや考え方について、意識するようになり実際に試してみたりした。		比率	人数	3.7点
I tried to think and practice what I have learned in this course. (必須)				
あてはまらない/Not at all applicable		3%	31人	
あまりあてはまらない/Not applicable		8%	77人	
どちらともいえない/Neutral		28%	281人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		43%	441人	
あてはまる/Applicable		19%	191人	
7 学びを深めるために、調べたり尋ねたりした。		比率	人数	3.8点
In order to deepen the study, I did research and questioned. (必須)				
あてはまらない/Not at all applicable		4%	44人	
あまりあてはまらない/Not applicable		8%	82人	
どちらともいえない/Neutral		18%	186人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		47%	475人	
あてはまる/Applicable		23%	234人	
8 授業1回当たりの授業外学習(予習・復習・課題や試験のための学習・関連する読書や活動など)は何時間でしたか。		比率	人数	2.0点
How long did you study for each class(preparation, review, assignment, report)? (必須)				
30分未満/Almost nothing		35%	359人	
30分~1時間未満/About 30 minutes		36%	363人	
1時間~2時間未満/1 to 2 hours		23%	238人	
2時間~4時間未満/2 to 4 hour		5%	48人	
4時間以上/Over 4 hours		1%	13人	
9 この授業を何回欠席しましたか。How many times were you absent from the class?		比率	人数	1.3点
? (必須)				
0回/0 time		80%	814人	
1回/1 time		11%	116人	
2回/2 times		5%	50人	
3~4回/3 to 4 times		3%	32人	
5回以上/Over 5 times		1%	9人	

Ⅱ 地域に関する学びの項目(関連がなかった授業では回答しないでください) Concerning your study on Mie (Please do not answer if this class is irrelevant to Mie).

10 この授業の受講によって、三重県や地域への興味・関心が高まった。(地域のことを扱わなかった授業では、「該当なし」を選び、扱っていた授業では「あてはまらない」~「あてはまる」を選んでください)		比率	人数	0.9点
This course has increased your interest in issues related to Mie. (Please select the "The course isn't applicable to this Q" if this class is irrelevant to Mie). (必須)				
該当なし/The course isn't applicable to this Q		69%	707人	
あてはまらない/Not at all applicable		1%	12人	
あまりあてはまらない/Not applicable		4%	43人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		18%	182人	
あてはまる/Applicable		8%	77人	

Ⅲ 4つの力に関する項目① Items on Four Key Abilities ①

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。(4つの力は、大学生としての活動のすべてを通して身につけるものです。また、各授業においても、4つの力の重点度には軽重がありますが、4つの力のすべてに回答してください。)

Please select the number which you think most applicable to each statement.(The four Key Abilities are acquired through all activities as a university student including out of class study. Please respond to all the four key abilities.)

11 この授業を通して、「感じる力」が成長したと思う。		比率	人数	2.2点
My 'Ability to Empathize' has grown through this course. (必須)				
全く成長しなかった/Not at all grew		7%	71人	
わずかながら成長した/Grew slightly		20%	203人	
少し成長した/Grew a little		31%	313人	

ある程度成長した／Grew to some extent		33%	338人	
かなり成長した／Grew considerably		9%	96人	
12 この授業を通して、「考える力」が成長したと思う。 My 'Ability to Think' has grown through this course. (必須)		比率	人数	2.7点
全く成長しなかった／Not at all grew		2%	16人	
わずかながら成長した／Grew slightly		8%	77人	
少し成長した／Grew a little		27%	279人	
ある程度成長した／Grew to some extent		42%	431人	
かなり成長した／Grew considerably		21%	218人	
13 この授業を通して、「コミュニケーション力」が成長したと思う。 My 'Ability to Communicate' has grown through this course. (必須)		比率	人数	1.4点
全く成長しなかった／Not at all grew		33%	337人	
わずかながら成長した／Grew slightly		23%	236人	
少し成長した／Grew a little		24%	244人	
ある程度成長した／Grew to some extent		15%	157人	
かなり成長した／Grew considerably		5%	47人	
14 この授業を通して、「生きる力」が成長したと思う。 My 'Ability to Live' has grown through this course. (必須)		比率	人数	2.1点
全く成長しなかった／Not at all grew		9%	93人	
わずかながら成長した／Grew slightly		23%	239人	
少し成長した／Grew a little		29%	297人	
ある程度成長した／Grew to some extent		29%	300人	
かなり成長した／Grew considerably		9%	92人	

IV 4つの力に関する項目② Items on Four Key Abilities ②

以下の「4つの力の構成要素」の観点について、この授業を通して成長したと思えるものを選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。

Among the components of the four key abilities shown below please select those you feel grew through this course.

感じる力

The Ability to Empathize

	人数
感性 Sensitivity	395人
共感 Empathy	253人
主体性 Autonomy	252人

考える力 The Ability to Think

	人数
幅広い教養 Knowledge in liberal arts	540人
専門知識・技術 Disciplinary knowledge & skills	677人
論理的批判的思考力 Logical&critical thinking skills	315人

コミュニケーション力 The Ability to Communicate

	人数
表現力 Ability to express oneself	294人
リーダーシップ°&フォロワーシップ° Leadership&followership	50人
実践外国語力 Foreign language proficiency	15人

生きる力 The Ability to Live

	人数
問題発見・解決力 Problem-finding & solving skills	503人
心身の健康に対する意識 Awareness of health	40人
社会人態度・倫理観 Attitudes as a member of society	227人

(以下、「授業改善のためのアンケート」です。)
Questionnaires on Improving the Quality of Education are as follows

Improve the Quality of Education

V 教育改善の項目

Items for the Improvement of Education

この授業をもっとよくするためには、どのような点を改善すればいいと考えますか。以下の項目から選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。In order to make this course better what do you think should be improved?

Please select from Items below. You may select as many as you Method to answer this question is the same as IV.

授業の概要の説明（口頭、シラバスなどによる）

Course Description(oral and by syllabus)

項目	人数
授業目的の説明Objectives of the course	28人
授業内容の説明Course planning&contents	65人
評価方法Methods and criteria of evaluation	40人

教室内で使用する教材

Teaching Materials in Class

項目	人数
授業内で提示される資料Materials presented	58人
配布資料/Web資料/Moodle Distributed materials	68人

教員の行動(話し方、わかりやすい説明、発展的な内容の説明、学習内容の活用の説明、不謹慎行動への対処など)

Behavior of the instructor (including Speech(easy listening comprehension),Explanation easy to understand,Explanation of contents in development,Explanation of practical application,Actions toward indiscreet students' behaviors)

項目	人数
話し方Speech(easy listening comprehension)	38人
わかりやすい説明Explanation easy to understand	66人
発展的な内容Explanation of contents in development	19人
学習内容の活用Explanation of practical application	18人
不謹慎行動への対処toward indiscreet behaviors	6人

授業における学生参加の機会について

Opportunities for Students' Participation in class

項目	人数
学生に考えさせる工夫Means to make us to think	53人
質問の機会To ask questions in class	13人
学生との対話の機会To discuss with each other	61人
学生同士の交流To deepen mutual understandings	58人

補足（グループ活動の実施や支援など）

Note:Opportunities among students to mutually dig problems deeply(group works and support for them)

授業外学習のための支援

Support for Off Class Learning

項目	人数
自学自習のための情報Information on self-study	48人
授業外での課題や宿題Subjects for off-class study	19人
学習に対する助言や補足Advising for learning	30人
質問や課題への適切な対応Responses to questions	13人
Moodleや電子メール等の使用Use of Moodle or email	3人

補足:参考図書・参考資料等も含む

Note:inc.reference book & materials

その他教員から指定のある項目

項目	人数
教員の指定項目Items specified by the Instructor	1人

この授業で利用された遠隔プラットフォーム、またはツールは何でしたか？なお、いくつ選んでもかまいません What kinds of ICT tools were used in the lesson (multiple choice)

項目	人数
該当なし/The course isn't applicable to this Q	5人
三重大学Mie Univ. Moodle	874人
Zoom	974人
Google Classroom	1人

Google Meet(Hangout)	0人
Microsoft Teams	18人
Line	6人
Telegram	0人
Skype	0人
その他Other 空欄にご記入 を.Pls fill in the blank	3人

この授業に関する次の質問にお答えください。 To what extent do you agree or disagree with the following statements about the lesson.

この遠隔授業では、遠隔プラットフォームやツールを使用する際トラブルや不明点がありましたか。 Did you have any trouble or questions when the online class started? 比率 人数 1.7点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	1%	11人
そう思う Agree	11%	113人
あまりそう思わない Disagree	43%	436人
全くそう思わない Strongly disagree	43%	440人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	2%	21人

自身のネット環境等は、遠隔授業がスムーズに行える状態でしたか。 Was the Internet connection at your home good enough for online classes? 比率 人数 3.3点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	37%	381人
そう思う Agree	56%	569人
あまりそう思わない Disagree	6%	60人
全くそう思わない Strongly disagree	1%	7人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	0%	4人

この授業が遠隔授業（オンライン授業）やハイブリッド授業を含む場合、以下の項目を従来の対面式授業と比較して、自分にあてはまると思う選択肢を選んでください。

※対面のみの授業など当てはまらない場合は、それぞれの項目で「該当なし」を選んでください。

※新入生は、高校などの対面授業と比較した想定で回答してください。

If your class is online or hybrid, please select all applicable answers, compared to face-to-face conventional method.

・ In case your class is only face-to-face, choose N/A.

理解が深まった I had a better understanding of the content. (必須) 比率 人数 2.7点

非常にそう思う Strongly agree	9%	95人
そう思う Agree	53%	545人
あまりそう思わない Disagree	31%	320人
全くそう思わない Strongly disagree	5%	51人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	10人

勉強の時間が増えた I spent more time studying (必須) 比率 人数 2.4点

非常にそう思う Strongly agree	7%	76人
そう思う Agree	37%	378人
あまりそう思わない Disagree	45%	458人
全くそう思わない Strongly disagree	9%	94人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	15人

積極的に取り組んだ I was more engaged in the lesson. (必須) 比率 人数 2.6点

非常にそう思う Strongly agree	9%	96人
そう思う Agree	52%	526人
あまりそう思わない Disagree	34%	344人
全くそう思わない Strongly disagree	4%	45人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	10人

Zoom等ICTツールの使い方が上達した ICT tool skill use was improved. (必須) 比率 人数 2.9点

非常にそう思う Strongly agree	20%	208人
そう思う Agree	52%	535人
あまりそう思わない Disagree	21%	213人
全くそう思わない Strongly disagree	5%	54人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	11人

比較的発言・質問が多くなった I spoke out and asked questions more often than before. (必須) 比率 人数 1.9点

非常にそう思う Strongly agree	3%	35人
そう思う Agree	16%	159人
あまりそう思わない Disagree	52%	532人
全くそう思わない Strongly disagree	22%	229人

disagree 該当なし/The course isn't applicable to this Q		6%	66人	
あまり集中できなかったI couldn't concentrate on that lesson. (必須)		比率	人数	2.3点
非常にそう思う Strongly agree		6%	57人	
そう思う Agree		29%	297人	
あまりそう思わない Disagree		52%	532人	
全くそう思わない Strongly disagree		12%	125人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		1%	10人	
比較的疲れたI felt more tired than usual after the lesson.		比率	人数	2.5点
非常にそう思う Strongly agree		8%	79人	
そう思う Agree		43%	430人	
あまりそう思わない Disagree		39%	390人	
全くそう思わない Strongly disagree		9%	87人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		1%	7人	
この授業で教員へ質問できる仕組みが整っていたと思いますか。		比率	人数	3.0点
Do you think this class has enough systems to ask your teacher questions? (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		21%	211人	
そう思う Agree		64%	653人	
あまりそう思わない Disagree		12%	121人	
全くそう思わない Strong disagree		2%	17人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		2%	19人	
この授業で教員へ質問をしたことがある場合、十分な回答が得られましたか。		比率	人数	1.1点
質問をしたことがなければ「該当なし」を選んでください。				
Have you received enough satisfactory answers from your teacher when you asked questions? If you have not asked any questions, choose N/A. (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		12%	123人	
そう思う Agree		18%	187人	
あまりそう思わない Disagree		3%	28人	
全くそう思わない Strong disagree		1%	9人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		66%	674人	
この授業の課題の量はあなたにとって適切だったと思いますか。		比率	人数	2.0点
Do you think the tasks given to you were the appropriate quantity? (必須)				
多すぎる too much		1%	11人	
ちょっと多い a lot		14%	140人	
ちょうどいい about right amount		76%	778人	
少ない too little		2%	23人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		7%	69人	
この授業で提出した課題に対して、十分なフィードバック（採点・コメント等）はありましたか。		比率	人数	2.2点
Have you received enough feedback such as scorings or comments about your tasks? (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		13%	135人	
そう思う Agree		42%	430人	
あまりそう思わない Disagree		20%	204人	
全くそう思わない Strong disagree		5%	52人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		20%	200人	
この授業において課題が課される頻度はどのくらいでしたか。		比率	人数	3.0点
How often were tasks given in this class? (必須)				
授業中に毎回簡単な課題が課さ れる Every lesson		19%	194人	
概ね毎週 Once a week generally		22%	224人	
数週間に一度程度 Every few weeks		16%	160人	
学期中に1.2回程度のレポート 1 or 2 reports		34%	350人	
現時点では課題一度もなかった No tasks by now		4%	40人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		5%	53人	

VI 授業改善に関する記述欄
Further description space for improvement
それぞれ240文字以内で記入してください。

Please describe within 240 characters for each question below.

※Please follow instruction from the faculty, if any

先生に続けてほしいと思うこと。

What you want the instructor to continue

自分が先生だったらこうしたいと思うこと。

What you want to do if you were the instructor

回答お疲れ様でした。右下の回答ボタンをクリックして回答を送信してください。

Thank you for your cooperation. Please complete this questionnaire by clicking the [回答] at the right-bottom of this screen.

期間：2021/12/01（水）00:00～2022/02/03（木）23:59

対象人数(延べ数)：5314人 回答人数(延べ数)：1708人 回答率 32.1%

2021年度授業アンケート Review of STUDY in 2021 後期

この調査の目的は、学生が自らの学びを振り返り改善できるように、学びの履歴を提供すること、そして大学が教育を改善するための情報を得ることです。

以下の設問には、すべて、授業だけではなく、授業外学習も含めて、回答してください。

The purposes of this survey are 1) to offer students a record of progress in study so that they will be able to look back and improve our study, and 2) to collect information for the university to improve education.

学びの振り返りシート Review of Your Study

I あなたの学びに関する項目

Items on Your Study

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。

Please select the number which you think most applicable to each statement.

1 総合的に判断して、この授業に満足できた。 The class was satisfactory generally. (必須)	比率	人数	4.3点
あてはまらない／Not at all applicable	2%	27人	
あまりあてはまらない／Not applicable	4%	61人	
どちらともいえない／Neutral	8%	136人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	39%	660人	
あてはまる／Applicable	48%	824人	
2 授業内外の学習に取り組むために、シラバスを活用した。 I used the syllabus to tackle the study in and out of class. (必須)	比率	人数	3.2点
あてはまらない／Not at all applicable	15%	263人	
あまりあてはまらない／Not applicable	18%	312人	
どちらともいえない／Neutral	19%	328人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	28%	484人	
あてはまる／Applicable	19%	321人	
3 この授業の内容について理解できた。 I was able to understand the contents of the course. (必須)	比率	人数	4.2点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	17人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	46人	
どちらともいえない／Neutral	8%	142人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	53%	903人	
あてはまる／Applicable	35%	600人	
4 新しい知識・考え方・技術などが獲得できた。 New knowledge, thoughts and techniques were acquired. (必須)	比率	人数	4.5点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	10人	
あまりあてはまらない／Not applicable	2%	30人	
どちらともいえない／Neutral	4%	60人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	38%	644人	
あてはまる／Applicable	56%	964人	
5 この授業の受講によって、学業への興味・関心（意欲）が高まった。 This course heightened your interest and desire for study. (必須)	比率	人数	4.2点
あてはまらない／Not at all applicable	2%	31人	
あまりあてはまらない／Not applicable	4%	70人	
どちらともいえない／Neutral	9%	150人	

ややあてはまる/Somewhat applicable		43%	734人	
あてはまる/Applicable		42%	723人	
6 この授業で学んだことや考え方について、意識するようになり実際に試してみたりした。		比率	人数	3.7点
I tried to think and practice what I have learned in this course. (必須)				
あてはまらない/Not at all applicable		3%	49人	
あまりあてはまらない/Not applicable		10%	166人	
どちらともいえない/Neutral		22%	373人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		41%	707人	
あてはまる/Applicable		24%	413人	
7 学びを深めるために、調べたり尋ねたりした。		比率	人数	3.9点
In order to deepen the study, I did research and questioned. (必須)				
あてはまらない/Not at all applicable		4%	70人	
あまりあてはまらない/Not applicable		9%	158人	
どちらともいえない/Neutral		15%	248人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		39%	674人	
あてはまる/Applicable		33%	558人	
8 授業1回当たりの授業外学習(予習・復習・課題や試験のための学習・関連する読書や活動など)は何時間でしたか。		比率	人数	2.1点
How long did you study for each class(preparation, review, assignment, report)? (必須)				
30分未満/Almost nothing		32%	543人	
30分~1時間未満/About 30 minutes		36%	622人	
1時間~2時間未満/1 to 2 hours		22%	384人	
2時間~4時間未満/2 to 4 hour		7%	122人	
4時間以上/Over 4 hours		2%	37人	
9 この授業を何回欠席しましたか。How many times were you absent from the class?		比率	人数	1.3点
(必須)				
0回/0 time		78%	1333人	
1回/1 time		14%	234人	
2回/2 times		5%	85人	
3~4回/3 to 4 times		3%	51人	
5回以上/Over 5 times		0%	5人	

II 地域に関する学びの項目(関連がなかった授業では回答しないでください) Concerning your study on Mie (Please do not answer if this class is irrelevant to Mie).

10 この授業の受講によって、三重県や地域への興味・関心が高まった。(地域のことを扱わなかった授業では、「該当なし」を選び、扱っていた授業では「あてはまらない」~「あてはまる」を選んでください)

This course has increased your interest in issues related to Mie. (Please select the "The course isn't applicable to this Q" if this class is irrelevant to Mie). (必須)

該当なし/The course isn't applicable to this Q		67%	1136人	
あてはまらない/Not at all applicable		2%	41人	
あまりあてはまらない/Not applicable		5%	85人	
ややあてはまる/Somewhat applicable		16%	273人	
あてはまる/Applicable		10%	173人	

III 4つの力に関する項目① Items on Four Key Abilities ①

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。(4つの力は、大学生としての活動のすべてを通して身につけるものです。また、各授業においても、4つの力の重点度には軽重がありますが、4つの力のすべてに回答してください。)

Please select the number which you think most applicable to each statement.(The four Key Abilities are acquired through all activities as a university student including out of class study. Please respond to all the four key abilities.)

11 この授業を通して、「感じる力」が成長したと思う。		比率	人数	2.3点
My 'Ability to Empathize' has grown through this course. (必須)				
全く成長しなかった/Not at all grew		5%	86人	
わずかながら成長した/Grew slightly		18%	300人	
少し成長した/Grew a little		32%	551人	

ある程度成長した／Grew to some extent		33%	565人	
かなり成長した／Grew considerably		12%	206人	
12 この授業を通して、「考える力」が成長したと思う。 My 'Ability to Think' has grown through this course. (必須)		比率	人数	2.8点
全く成長しなかった／Not at all grew		2%	26人	
わずかながら成長した／Grew slightly		7%	127人	
少し成長した／Grew a little		25%	428人	
ある程度成長した／Grew to some extent		41%	700人	
かなり成長した／Grew considerably		25%	427人	
13 この授業を通して、「コミュニケーション力」が成長したと思う。 My 'Ability to Communicate' has grown through this course. (必須)		比率	人数	1.5点
全く成長しなかった／Not at all grew		31%	527人	
わずかながら成長した／Grew slightly		21%	363人	
少し成長した／Grew a little		20%	349人	
ある程度成長した／Grew to some extent		17%	292人	
かなり成長した／Grew considerably		10%	177人	
14 この授業を通して、「生きる力」が成長したと思う。 My 'Ability to Live' has grown through this course. (必須)		比率	人数	2.2点
全く成長しなかった／Not at all grew		8%	134人	
わずかながら成長した／Grew slightly		21%	357人	
少し成長した／Grew a little		30%	511人	
ある程度成長した／Grew to some extent		29%	487人	
かなり成長した／Grew considerably		13%	219人	

IV 4つの力に関する項目② Items on Four Key Abilities ②

以下の「4つの力の構成要素」の観点について、この授業を通して成長したと思えるものを選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。

Among the components of the four key abilities shown below please select those you feel grew through this course.

感じる力

The Ability to Empathize

	人数
感性 Sensitivity	666人
共感 Empathy	446人
主体性 Autonomy	532人

考える力 The Ability to Think

	人数
幅広い教養 Knowledge in liberal arts	920人
専門知識・技術 Disciplinary knowledge & skills	1004人
論理的批判的思考力 Logical&critical thinking skills	623人

コミュニケーション力 The Ability to Communicate

	人数
表現力 Ability to express oneself	590人
リーダーシップ°&フォロワーシップ° Leadership&followership	164人
実践外国語力 Foreign language proficiency	44人

生きる力 The Ability to Live

	人数
問題発見・解決力 Problem-finding & solving skills	894人
心身の健康に対する意識 Awareness of health	113人
社会人態度・倫理観 Attitudes as a member of society	504人

(以下、「授業改善のためのアンケート」です。)
Questionnaires on Improving the Quality of Education are as follows

Improve the Quality of Education

V 教育改善の項目

Items for the Improvement of Education

この授業をもっとよくするためには、どのような点を改善すればいいと考えますか。以下の項目から選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。In order to make this course better what do you think should be improved?

Please select from Items below. You may select as many as you Method to answer this question is the same as IV.

授業の概要の説明（口頭、シラバスなどによる）

Course Description(oral and by syllabus)

項目	人数
授業目的の説明Objectives of the course	76人
授業内容の説明Course planning&contents	130人
評価方法Methods and criteria of evaluation	84人

教室内で使用する教材

Teaching Materials in Class

項目	人数
授業内で提示される資料Materials presented	85人
配布資料/Web資料/Moodle Distributed materials	114人

教員の行動(話し方、わかりやすい説明、発展的な内容の説明、学習内容の活用の説明、不謹慎行動への対処など)

Behavior of the instructor (including Speech(easy listening comprehension),Explanation easy to understand,Explanation of contents in development,Explanation of practical application,Actions toward indiscreet students' behaviors)

項目	人数
話し方Speech(easy listening comprehension)	91人
わかりやすい説明Explanation easy to understand	121人
発展的内容Explanation of contents in development	26人
学習内容の活用Explanation of practical application	43人
不謹慎行動への対処toward indiscreet behaviors	11人

授業における学生参加の機会について

Opportunities for Students' Participation in class

項目	人数
学生に考えさせる工夫Means to make us to think	84人
質問の機会To ask questions in class	41人
学生との対話の機会To discuss with each other	75人
学生同士の交流To deepen mutual understandings	107人

補足（グループ活動の実施や支援など）

Note:Opportunities among students to mutually dig problems deeply(group works and support for them)

授業外学習のための支援

Support for Off Class Learning

項目	人数
自学自習のための情報Information on self-study	83人
授業外での課題や宿題Subjects for off-class study	53人
学習に対する助言や補足Advising for learning	74人
質問や課題への適切な対応Responses to questions	18人
Moodleや電子メール等の使用Use of Moodle or email	19人

補足:参考図書・参考資料等も含む

Note:inc.reference book & materials

その他教員から指定のある項目

項目	人数
教員の指定項目Items specified by the Instructor	0人

この授業で利用された遠隔プラットフォーム、またはツールは何でしたか？なお、いくつ選んでもかまいません What kinds of ICT tools were used in the lesson (multiple choice)

項目	人数
該当なし/The course isn't applicable to this Q	14人
三重大学Mie Univ. Moodle	1487人
Zoom	1606人
Google Classroom	8人

Google Meet(Hangout)	0人
Microsoft Teams	20人
Line	13人
Telegram	0人
Skype	1人
その他Other 空欄にご記入 を.Pls fill in the blank	16人

この授業に関する次の質問にお答えください。 To what extent do you agree or disagree with the following statements about the lesson.

この遠隔授業では、遠隔プラットフォームやツールを使用する際トラブルや不明点がありましたか。 Did you have any trouble or questions when the online class started? 比率 人数 1.6点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	1%	23人
そう思う Agree	11%	183人
あまりそう思わない Disagree	39%	668人
全くそう思わない Strongly disagree	43%	730人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	6%	104人

自身のネット環境等は、遠隔授業がスムーズに行える状態でしたか。 Was the Internet connection at your home good enough for online classes? 比率 人数 3.2点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	37%	627人
そう思う Agree	53%	912人
あまりそう思わない Disagree	6%	111人
全くそう思わない Strongly disagree	1%	22人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	2%	36人

この授業が遠隔授業（オンライン授業）やハイブリッド授業を含む場合、以下の項目を従来の対面式授業と比較して、自分にあてはまると思う選択肢を選んでください。

※対面のみの授業など当てはまらない場合は、それぞれの項目で「該当なし」を選んでください。

※新入生は、高校などの対面授業と比較した想定で回答してください。

If your class is online or hybrid, please select all applicable answers, compared to face-to-face conventional method.

・ In case your class is only face-to-face, choose N/A.

理解が深まった I had a better understanding of the content. (必須) 比率 人数 2.6点

非常にそう思う Strongly agree	13%	217人
そう思う Agree	47%	797人
あまりそう思わない Disagree	33%	572人
全くそう思わない Strongly disagree	4%	61人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	4%	61人

勉強の時間が増えた I spent more time studying (必須) 比率 人数 2.4点

非常にそう思う Strongly agree	13%	216人
そう思う Agree	34%	574人
あまりそう思わない Disagree	42%	715人
全くそう思わない Strongly disagree	8%	133人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	4%	70人

積極的に取り組んだ I was more engaged in the lesson. (必須) 比率 人数 2.6点

非常にそう思う Strongly agree	14%	241人
そう思う Agree	45%	764人
あまりそう思わない Disagree	34%	577人
全くそう思わない Strongly disagree	4%	71人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	3%	55人

Zoom等ICTツールの使い方が上達した ICT tool skill use was improved. (必須) 比率 人数 2.8点

非常にそう思う Strongly agree	23%	399人
そう思う Agree	50%	854人
あまりそう思わない Disagree	17%	293人
全くそう思わない Strongly disagree	5%	83人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	5%	79人

比較的発言・質問が多くなった I spoke out and asked questions more often than before. (必須) 比率 人数 1.9点

非常にそう思う Strongly agree	5%	88人
そう思う Agree	17%	284人
あまりそう思わない Disagree	49%	837人
全くそう思わない Strongly disagree	20%	344人

disagree 該当なし/The course isn't applicable to this Q		9%	155人	
あまり集中できなかったI couldn't concentrate on that lesson. (必須)		比率	人数	2.1点
非常にそう思う Strongly agree		5%	81人	
そう思う Agree		29%	492人	
あまりそう思わない Disagree		45%	775人	
全くそう思わない Strongly disagree		17%	297人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		4%	63人	
比較的疲れたI felt more tired than usual after the lesson.		比率	人数	2.4点
非常にそう思う Strongly agree		10%	158人	
そう思う Agree		38%	627人	
あまりそう思わない Disagree		36%	589人	
全くそう思わない Strongly disagree		13%	217人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		4%	58人	
この授業で教員へ質問できる仕組みが整っていたと思いますか。		比率	人数	3.0点
Do you think this class has enough systems to ask your teacher questions? (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		24%	408人	
そう思う Agree		61%	1043人	
あまりそう思わない Disagree		11%	185人	
全くそう思わない Strong disagree		1%	21人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		3%	51人	
この授業で教員へ質問をしたことがある場合、十分な回答が得られましたか。		比率	人数	1.3点
質問をしたことがなければ「該当なし」を選んでください。				
Have you received enough satisfactory answers from your teacher when you asked questions? If you have not asked any questions, choose N/A. (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		14%	242人	
そう思う Agree		21%	356人	
あまりそう思わない Disagree		3%	48人	
全くそう思わない Strong disagree		1%	14人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		61%	1048人	
この授業の課題の量はあなたにとって適切だったと思いますか。		比率	人数	2.1点
Do you think the tasks given to you were the appropriate quantity? (必須)				
多すぎる too much		4%	61人	
ちょっと多い a lot		16%	272人	
ちょうどいい about right amount		73%	1255人	
少ない too little		2%	30人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		5%	90人	
この授業で提出した課題に対して、十分なフィードバック（採点・コメント等）はありましたか。		比率	人数	2.3点
Have you received enough feedback such as scorings or comments about your tasks? (必須)				
非常にそう思う Strongly agree		16%	270人	
そう思う Agree		36%	623人	
あまりそう思わない Disagree		23%	393人	
全くそう思わない Strong disagree		8%	130人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		17%	292人	
この授業において課題が課される頻度はどのくらいでしたか。		比率	人数	3.0点
How often were tasks given in this class? (必須)				
授業中に毎回簡単な課題が課さ れる Every lesson		15%	249人	
概ね毎週 Once a week generally		26%	441人	
数週間に一度程度 Every few weeks		13%	228人	
学期中に1.2回程度のレポート 1 or 2 reports		38%	647人	
現時点では課題一度もなかった No tasks by now		3%	53人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		5%	90人	

VI 授業改善に関する記述欄
Further description space for improvement
それぞれ240文字以内で記入してください。

Please describe within 240 characters for each question below.

※Please follow instruction from the faculty, if any

先生に続けてほしいと思うこと。

What you want the instructor to continue

自分が先生だったらこうしたいと思うこと。

What you want to do if you were the instructor

回答お疲れ様でした。右下の回答ボタンをクリックして回答を送信してください。

Thank you for your cooperation. Please complete this questionnaire by clicking the [回答] at the right-bottom of this screen.

期間：2022/02/21（月）00:00～2022/02/28（月）23:59

対象人数(延べ数)：5316人 回答人数(延べ数)：155人 回答率 2.9%

2021年度授業アンケート Review of STUDY in 2021 後期追加調査

今回は後期授業アンケートの追加実施です。まだ後期授業アンケートにご回答いただけていない方は、今回実施分でご回答をお願いします。

以下の設問には、すべて、授業だけではなく授業外学習も含めて回答してください。

The purposes of this survey are 1) to offer students a record of progress in study so that they will be able to look back and improve own study, and 2) to collect information for the university to improve education.

学びの振り返りシート Review of Your Study

I あなたの学びに関する項目

Items on Your Study

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。

Please select the number which you think most applicable to each statement.

1 総合的に判断して、この授業に満足できた。 The class was satisfactory generally. (必須)	比率	人数	4.3点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	1人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	4人	
どちらともいえない／Neutral	7%	11人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	42%	65人	
あてはまる／Applicable	48%	74人	
2 授業内外の学習に取り組むために、シラバスを活用した。 I used the syllabus to tackle the study in and out of class. (必須)	比率	人数	3.2点
あてはまらない／Not at all applicable	19%	30人	
あまりあてはまらない／Not applicable	17%	26人	
どちらともいえない／Neutral	9%	14人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	34%	53人	
あてはまる／Applicable	21%	32人	
3 この授業の内容について理解できた。 I was able to understand the contents of the course. (必須)	比率	人数	4.3点
あてはまらない／Not at all applicable	0%	0人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	5人	
どちらともいえない／Neutral	6%	10人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	50%	78人	
あてはまる／Applicable	40%	62人	
4 新しい知識・考え方・技術などが獲得できた。 New knowledge, thoughts and techniques were acquired. (必須)	比率	人数	4.5点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	1人	
あまりあてはまらない／Not applicable	2%	3人	
どちらともいえない／Neutral	3%	5人	
ややあてはまる／Somewhat applicable	38%	59人	
あてはまる／Applicable	56%	87人	
5 この授業の受講によって、学業への興味・関心（意欲）が高まった。 This course heightened your interest and desire for study. (必須)	比率	人数	4.3点
あてはまらない／Not at all applicable	1%	1人	
あまりあてはまらない／Not applicable	3%	5人	

どちらともいえない/Neutral		5%	8人
ややあてはまる/Somewhat applicable		43%	66人
あてはまる/Applicable		48%	75人
6 この授業で学んだことや考え方について、意識するようになり実際に試してみたりした。 I tried to think and practice what I have learned in this course. (必須)	比率 人数		3.9点
あてはまらない/Not at all applicable		6%	9人
あまりあてはまらない/Not applicable		6%	10人
どちらともいえない/Neutral		12%	19人
ややあてはまる/Somewhat applicable		48%	74人
あてはまる/Applicable		28%	43人
7 学びを深めるために、調べたり尋ねたりした。 In order to deepen the study, I did research and questioned. (必須)	比率 人数		4.1点
あてはまらない/Not at all applicable		3%	5人
あまりあてはまらない/Not applicable		8%	13人
どちらともいえない/Neutral		6%	9人
ややあてはまる/Somewhat applicable		41%	63人
あてはまる/Applicable		42%	65人
8 授業1回当たりの授業外学習(予習・復習・課題や試験のための学習・関連する読書や活動など)は何時間でしたか。 How long did you study for each class(preparation, review, assignment, report)? (必須)	比率 人数		2.4点
30分未満/Almost nothing		24%	37人
30分～1時間未満/About 30 minutes		38%	59人
1時間～2時間未満/1 to 2 hours		21%	33人
2時間～4時間未満/2 to 4 hour		12%	19人
4時間以上/Over 4 hours		5%	7人
9 この授業を何回欠席しましたか。How many times were you absent from the class? (必須)	比率 人数		1.3点
0回/0 time		79%	123人
1回/1 time		12%	18人
2回/2 times		7%	11人
3～4回/3 to 4 times		1%	2人
5回以上/Over 5 times		1%	1人

II 地域に関する学びの項目 (関連がなかった授業では回答しないでください) Concerning your study on Mie (Please do not answer if this class is irrelevant to Mie).

10 この授業の受講によって、三重県や地域への興味・関心が高まった。(地域のことを扱わなかった授業では、「該当なし」を選び、扱っていた授業では「あてはまらない」～「あてはまる」を選んでください) This course has increased your interest in issues related to Mie. (Please select the "The course isn't applicable to this Q" if this class is irrelevant to Mie). (必須)	比率 人数		0.8点
該当なし/The course isn't applicable to this Q		74%	114人
あてはまらない/Not at all applicable		1%	1人
あまりあてはまらない/Not applicable		5%	7人
ややあてはまる/Somewhat applicable		12%	19人
あてはまる/Applicable		9%	14人

III 4つの力に関する項目① Items on Four Key Abilities ①

以下の項目について当てはまると思う数字を選んでください。(4つの力は、大学生としての活動のすべてを通して身につけるものです。また、各授業においても、4つの力の重点度には軽重がありますが、4つの力のすべてに回答してください。)

Please select the number which you think most applicable to each statement.(The four Key Abilities are acquired through all activities as a university student including out of class study. Please respond to all the four key abilities.)

11 この授業を通して、「感じる力」が成長したと思う。 My 'Ability to Empathize' has grown through this course. (必須)	比率 人数		2.5点
全く成長しなかった/Not at all grew		6%	9人
わずかながら成長した/Grew slightly		15%	23人

少し成長した/Grew a little		25%	39人
ある程度成長した/Grew to some extent		37%	57人
かなり成長した/Grew considerably		17%	27人
12 この授業を通して、「考える力」が成長したと思う。 My 'Ability to Think' has grown through this course. (必須)		比率	人数 2.9点
全く成長しなかった/Not at all grew		1%	1人
わずかながら成長した/Grew slightly		12%	18人
少し成長した/Grew a little		18%	28人
ある程度成長した/Grew to some extent		40%	62人
かなり成長した/Grew considerably		30%	46人
13 この授業を通して、「コミュニケーション力」が成長したと思う。 My 'Ability to Communicate' has grown through this course. (必須)		比率	人数 2.0点
全く成長しなかった/Not at all grew		19%	30人
わずかながら成長した/Grew slightly		14%	22人
少し成長した/Grew a little		25%	39人
ある程度成長した/Grew to some extent		32%	49人
かなり成長した/Grew considerably		10%	15人
14 この授業を通して、「生きる力」が成長したと思う。 My 'Ability to Live' has grown through this course. (必須)		比率	人数 2.3点
全く成長しなかった/Not at all grew		7%	11人
わずかながら成長した/Grew slightly		19%	29人
少し成長した/Grew a little		29%	45人
ある程度成長した/Grew to some extent		30%	47人
かなり成長した/Grew considerably		15%	23人

IV 4つの力に関する項目② Items on Four Key Abilities ②

以下の「4つの力の構成要素」の観点について、この授業を通して成長したと思えるものを選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。

Among the components of the four key abilities shown below please select those you feel grew through this course.

感じる力

The Ability to Empathize

	人数
感性 Sensitivity	71人
共感 Empathy	56人
主体性 Autonomy	62人

考える力 The Ability to Think

	人数
幅広い教養 Knowledge in liberal arts	89人
専門知識・技術 Disciplinary knowledge & skills	90人
論理的批判的思考力 Logical&critical thinking skills	52人

コミュニケーション力 The Ability to Communicate

	人数
表現力 Ability to express oneself	59人
リーダーシップ & フォロワーシップ Leadership & followership	22人
実践外国語力 Foreign language proficiency	4人

生きる力 The Ability to Live

	人数
問題発見・解決力 Problem-finding & solving skills	74人
心身の健康に対する意識 Awareness of health	13人
社会人態度・倫理観 Attitudes as a member of society	57人

(以下、「授業改善のためのアンケート」です。)
Questionnaires on Improving the Quality of Education are as follows

授業改善のためのアンケート Improve the Quality of Education

V 教育改善の項目

Items for the Improvement of Education

この授業をもっとよくするためには、どのような点を改善すればいいと考えますか。以下の項目から選んでください。なお、いくつ選んでもかまいません。In order to make this course better what do you think should be improved?

Please select from Items below. You may select as many as you Method to answer this question is the same as IV.

授業の概要の説明（口頭、シラバスなどによる）

Course Description(oral and by syllabus)

項目	人数
授業目的の説明Objectives of the course	8人
授業内容の説明Course planning&contents	6人
評価方法Methods and criteria of evaluation	7人

教室内で使用する教材

Teaching Materials in Class

項目	人数
授業内で提示される資料Materials presented	8人
配布資料/Web資料/Moodle Distributed materials	9人

教員の行動(話し方、わかりやすい説明、発展的な内容の説明、学習内容の活用の説明、不謹慎行動への対処など)

Behavior of the instructor (including Speech(easy listening

comprehension),Explanation easy to understand,Explanation of contents in

development,Explanation of practical application,Actions toward indiscreet students'

behaviors)

項目	人数
話し方Speech(easy listening comprehension)	4人
わかりやすい説明Explanation easy to understand	11人
発展的内容Explanation of contents in development	2人
学習内容の活用Explanation of practical application	4人
不謹慎行動への対処toward indiscreet behaviors	2人

授業における学生参加の機会について

Opportunities for Students' Participation in class

項目	人数
学生に考えさせる工夫Means to make us to think	5人
質問の機会To ask questions in class	9人
学生との対話の機会To discuss with each other	2人
学生同士の交流To deepen mutual understandings	9人

補足（グループ活動の実施や支援など）

Note:Opportunities among students to mutually dig problems deeply(group works and support for them)

授業外学習のための支援

Support for Off Class Learning

項目	人数
自学自習のための情報Information on self-study	11人
授業外での課題や宿題Subjects for off-class study	5人
学習に対する助言や補足Advising for learning	5人
質問や課題への適切な対応Responses to questions	2人
Moodleや電子メール等の使用Use of Moodle or email	1人

補足:参考図書・参考資料等も含む

Note:inc.reference book & materials

その他教員から指定のある項目

項目	人数
教員の指定項目Items specified by the Instructor	0人

この授業で利用された遠隔プラットフォーム、またはツールは何でしたか？なお、いくつ選んでもかまいません What kinds of ICT tools were used in the lesson (multiple choice)

項目	人数
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1人
三重大学Mie Univ. Moodle	126人
Zoom	148人

Google Classroom	3人
Google Meet(Hangout)	0人
Microsoft Teams	2人
Line	3人
Telegram	0人
Skype	0人
その他Other 空欄にご記入 を.Pls fill in the blank	3人

この授業に関する次の質問にお答えください。 To what extent do you agree or disagree with the following statements about the lesson.

この遠隔授業では、遠隔プラットフォームやツールを使用する際トラブルや不明点がありましたか。 Did you have any trouble or questions when the online class started? 比率 人数 1.7点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	3%	4人
そう思う Agree	12%	18人
あまりそう思わない Disagree	43%	67人
全くそう思わない Strongly disagree	35%	55人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	7%	11人

自身のネット環境等は、遠隔授業がスムーズに行える状態でしたか。 Was the Internet connection at your home good enough for online classes? 比率 人数 3.3点
(必須)

非常にそう思う Strongly agree	40%	62人
そう思う Agree	52%	81人
あまりそう思わない Disagree	5%	7人
全くそう思わない Strongly disagree	1%	1人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	3%	4人

この授業が遠隔授業（オンライン授業）やハイブリッド授業を含む場合、以下の項目を従来の対面式授業と比較して、自分にあてはまると思う選択肢を選んでください。
※対面のみの授業など当てはまらない場合は、それぞれの項目で「該当なし」を選んでください。

※新入生は、高校などの対面授業と比較した想定で回答してください。
If your class is online or hybrid, please select all applicable answers, compared to face-to-face conventional method.

・ In case your class is only face-to-face, choose N/A.

理解が深まった I had a better understanding of the content. (必須) 比率 人数 2.9点

非常にそう思う Strongly agree	20%	31人
そう思う Agree	50%	78人
あまりそう思わない Disagree	26%	41人
全くそう思わない Strongly disagree	2%	3人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	2人

勉強の時間が増えた I spent more time studying (必須) 比率 人数 2.6点

非常にそう思う Strongly agree	13%	20人
そう思う Agree	45%	70人
あまりそう思わない Disagree	34%	53人
全くそう思わない Strongly disagree	6%	10人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	2人

積極的に取り組んだ I was more engaged in the lesson. (必須) 比率 人数 2.9点

非常にそう思う Strongly agree	17%	27人
そう思う Agree	55%	86人
あまりそう思わない Disagree	24%	37人
全くそう思わない Strongly disagree	2%	3人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	2人

Zoom等ICTツールの使い方が上達した ICT tool skill use was improved. (必須) 比率 人数 2.9点

非常にそう思う Strongly agree	24%	37人
そう思う Agree	54%	83人
あまりそう思わない Disagree	15%	23人
全くそう思わない Strongly disagree	6%	10人
該当なし/The course isn't applicable to this Q	1%	2人

比較的発言・質問が多くなった I spoke out and asked questions more often than before. (必須) 比率 人数 2.1点

非常にそう思う Strongly agree	8%	13人
そう思う Agree	29%	45人
あまりそう思わない Disagree	38%	59人

全くそう思わない Strongly disagree		17%	27人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		7%	11人	
あまり集中できなかったI couldn't concentrate on that lesson. (必須)		比率	人数	2.2点
非常にそう思う Strongly agree		7%	11人	
そう思う Agree		22%	34人	
あまりそう思わない Disagree		52%	80人	
全くそう思わない Strongly disagree		18%	28人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		1%	2人	
比較的疲れたI felt more tired than usual after the lesson.		比率	人数	2.3点
非常にそう思う Strongly agree		6%	9人	
そう思う Agree		33%	50人	
あまりそう思わない Disagree		44%	67人	
全くそう思わない Strongly disagree		16%	25人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		1%	2人	
この授業で教員へ質問できる仕組みが整っていたと思いますか。 Do you think this class has enough systems to ask your teacher questions? (必須)		比率	人数	3.0点
非常にそう思う Strongly agree		30%	46人	
そう思う Agree		53%	82人	
あまりそう思わない Disagree		12%	19人	
全くそう思わない Strong disagree		1%	1人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		5%	7人	
この授業で教員へ質問をしたことがある場合、十分な回答が得られましたか。 質問をしたことがなければ「該当なし」を選んでください。 Have you received enough satisfactory answers from your teacher when you asked questions? If you have not asked any questions, choose N/A. (必須)		比率	人数	1.8点
非常にそう思う Strongly agree		20%	31人	
そう思う Agree		32%	50人	
あまりそう思わない Disagree		1%	1人	
全くそう思わない Strong disagree		0%	0人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		47%	73人	
この授業の課題の量はあなたにとって適切だったと思いますか。 Do you think the tasks given to you were the appropriate quantity? (必須)		比率	人数	2.0点
多すぎる too much		1%	2人	
ちょっと多い a lot		12%	18人	
ちょうどいい about right amount		77%	120人	
少ない too little		5%	7人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		5%	8人	
この授業で提出した課題に対して、十分なフィードバック(採点・コメント等)はありましたか。 Have you received enough feedback such as scorings or comments about your tasks? (必須)		比率	人数	2.3点
非常にそう思う Strongly agree		20%	31人	
そう思う Agree		32%	50人	
あまりそう思わない Disagree		19%	29人	
全くそう思わない Strong disagree		12%	19人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		17%	26人	
この授業において課題が課される頻度はどのくらいでしたか。 How often were tasks given in this class? (必須)		比率	人数	3.0点
授業中に毎回簡単な課題が課される Every lesson		15%	23人	
概ね毎週 Once a week generally		27%	42人	
数週間に一度程度 Every few weeks		17%	26人	
学期中に1.2回程度のレポート 1 or 2 reports		33%	51人	
現時点では課題一度もなかった No tasks by now		1%	2人	
該当なし/The course isn't applicable to this Q		7%	11人	

それぞれ240文字以内で記入してください。

Please describe within 240 characters for each question below.

※Please follow instruction from the faculty, if any

先生に続けてほしいと思うこと。

What you want the instructor to continue

自分が先生だったらこうしたいと思うこと。

What you want to do if you were the instructor

回答お疲れ様でした。右下の回答ボタンをクリックして回答を送信してください。

Thank you for your cooperation. Please complete this questionnaire by clicking the [回答] at the right-bottom of this screen.

2. 分析結果

① アンケートの回答率

まずアンケートの回答率をみると、前期分は前年度よりかなり低下し、20.8%であった。これは前期分としては2018年度以降の最低値である。そして後期には、前述したように、全ての授業科目を対象とすると明確化した上で、授業時間内の呼びかけと時間内のアンケート実施（可能ならば）を教員に依頼したため、回答率は35.0%に上昇した。なお2021年度後期には、通常のアンケートに加えて追加アンケートも実施されたので（2月）、ここでは両者を合わせて後期分と計算した。

質問項目	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
回答率 (%)	30.0	20.8	28.1	20.4	29.8	22.6	20.8	35.0
1. 総合的に判断して、この授業に満足できた	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3
2. 授業内外の学習に取り組むために、シラバスを活用した	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.0	3.1	3.2
3. この授業の内容について理解できた	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
4. 新しい知識・考え方・技術などが獲得できた	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5
5. この授業の受講によって、学業への興味・関心（意欲）が高まった	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
6. この授業で学んだことや考え方について、意識するようになり実際に試してみたりした	3.5	3.5	3.4	3.6	3.4	3.6	3.7	3.8
7. 学びを深めるために、調べたり尋ねたりした	3.4	3.5	3.4	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9
8. 授業1回あたりの授業外学習は何時間でしたか	1.8	1.9	1.8	1.9	2.0	2.2	2.0	2.1
9. この授業を何回欠席しましたか	1.8	2.0	1.9	1.9	1.3	1.3	1.3	1.3

② 「学びの振り返りシート」の集計結果

まず、設問1「総合的に判断してこの授業に満足できた」は、学生の総合的な満足度を示す項目として、これまでも重視されてきた。今回の結果をみると、前期が4.3、後期も4.3であり、過去数年間と比べてほぼ同じ点数である。2021年度はハイブリッド形式の授業が多かったが、各教員が不慣れな授業運営を強いられながら、創意工夫により、例年と同程度の学生による満足度が得られたと評価してよいだろう。同様に、設問3「この授業の内容について理解できた」、設問4「新しい知識・考え方・技術などが獲得できた」、設問5「この授業の受講によって、学業への興味・関心（意欲）が高まった」のいずれにおいても、回答値は4点を超えており、前年と同程度の高い評価が得られた。一方で、設問2「授業内外の学習に取り組むためにシラバスを活用した」、設問6「この授業で学んだことや考え方について、意識するようになり実際に試してみたりした」、設問7「学びを深めるために調べ

たり尋ねたりした」については、回答値がやや低くなり、いずれも3点台である。ただし、設問6の点数が昨年度より少し高くなっており、学生の自主的な学びが伸長しているとも言えそうである。

次に、設問8「授業1回あたりの授業外学習は何時間でしたか」については、前期が2.0で後期が2.1であり、前年とほぼ同じである。この場合の1点は「30分未満」、2点は「30分以上1時間未満」を指している。実際にはこの回答以外の学習や読書等もあるだろうが、この学習時間に関する問題（制度上は1回あたり90分の授業と4時間の授業外学習が必要とされる）を、これまでの報告書と同様にここで指摘しておきたい。そして、設問9「この授業を何回欠席しましたか」については、前期・後期とも1.3であり、前年と同じであった。1点は「0回」、2点は「1回」を示しており、全体の約8割の学生が「欠席0回」と回答している。2020年のコロナ禍以降、この点数は下がっており、オンライン授業導入の結果、学生の真面目さがより強く現れたようである。

次に、4つの力に関する設問をみると、過去の報告書での指摘と同様に、「考える力が成長した」という回答ポイントが最も高くなっており、その構成要素としては、「専門知識・技術」「幅広い教養」「問題発見・解決力」などを挙げた例が多い。大学教育としてあるべき役割を果たしているものと評価できよう。

③ 「授業改善のためのアンケート」の集計結果

教育改善の項目（どのような点を改善すればいいか）については、評価が難しいが、回答全体の特徴のみを記録しておく。回答が多いのは、「授業内容の説明」（前期3位、後期1位）、「わかりやすい説明」（前期2位、後期2位）、「配布資料/Web資料/Moodle」（前期1位、後期3位）であり、2020年度と同様の結果が得られた。これらに次いで回答が多かったのは、前期は「学生との対話の機会」、後期が「学生同士の交流」であり、ここにも、オンライン授業・ハイブリッド授業の影響がみてとれる。

次の質問は、オンライン授業に関する学生の評価・感想を直接問うもので、2020年度に新たに設定された項目である。その回答をまとめてみると、設問「遠隔プラットフォームやツールを使用する際にトラブルや不明点がありましたか」に対しては、そう思わない学生が多く、次の設問「自身のネット環境等は遠隔授業がスムーズに行える状態でしたか」に対しては、そう思う学生が多く、全体的に大きな問題は生じなかったともいえる。これらの結果は前年度と同様である。次に、「従来の対面授業と比較してどうだったか、どう思うか」という質問群がある。学生の回答の傾向が割と明瞭なのは、設問「Zoom等ICTツールの使い方が上達した」に対する回答値が高い（そう思う学生が多い）こと、そして設問「比較的発言・質問が多くなった」と「あまり集中できなかつた」に対する回答値が低い（そう思わない学生が多い）ことである。しかし、他の設問「理解が深まった」、「勉強の時間が増えた」、「積極的に取り組んだ」、「比較的疲れた」に対しては、いずれの場合も回答が偏っていない、すなわち「そう思う」と「そう思わない」が拮抗している。前年度の報告書においても、ほぼ類似した傾向が指摘されているが、強いて特徴をあげれば、「あまり集中できなかつた」と「比較的疲れた」の回答値が前年度より低下しており（そう思わない学生が増えた）、ハ

イブリッド授業への移行の影響、およびオンライン授業への慣れが生じてきたとも解釈できる

次は、2021年度に新設された質問群である。その結果は、「授業で教員へ質問できる仕組みが整っていたと思いますか」に対しては、そう思うという回答が多く、「授業の課題の量はあなたにとって適切だったと思いますか」に対しては、ちょうどいいという回答が多いので、学生による評価は良好といえよう。なお、「授業で提出した課題に対して十分なフィードバックはありましたか」に対しては、全体としてそう思うという回答が多いが、そう思わないという否定的な回答もやや多くなっている。

最後の「授業改善に関する記述欄」については、多数の回答（自由記述）が寄せられている。これらの学生による率直な意見を各教員が受け止めて、今後の授業改善に活用することが求められる。

Ⅲ. 教員による「授業に関するアンケート」

1. アンケートの概要

アンケートの目的と方法

教員による「授業に関するアンケート」は、教員が授業で使用している教材や授業で行っている工夫などについての基礎データを収集し分析することにより、次年度以降の教育内容・教育方法の改善のための資料提供を行うことを主な目的としている。

このアンケート調査の実施にあたっては、例年各教員に用紙を配布し、それを回収してきた。しかし2020年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、オンラインでの授業実施、在宅勤務の奨励等の事情が生じたため、三重大学 Moodle 内に作った「人文学部FD委員会2020」というコースの中にアンケート項目を設定し、教員はオンラインで回答・入力するという方式をとった。そして2021年度も、同様の方法で実施した。

①質問項目

昨年度の項目をもとに作成した。なお、授業形態に関する質問（対面、完全オンライン、ハイブリッドより選択）を新設した。

②調査対象科目

専任教員および特任教員が担当する人文学部専門課程（前期・後期）の講義と演習科目を対象に調査を行った。回収されたのは110科目（文化学科77科目、法律経済学科31科目、その他2科目）である。この場合の「その他」は、いずれの学科にも所属しない教員の担当授業である。

なお、リレー講義科目については、これまでと同様、一つの科目に複数の教員からの回答が集計されている場合がある。

③アンケート結果分析の視点

前期科目と後期科目の区別はせず、人文学部全体（上記の「その他」を含む）、文化学科、法律経済学科の3区分で集計した。また昨年度と同じ質問・選択肢については、昨年度と比較し、増減ポイントを示した（下記の②③④⑥）。昨年度とはアンケート回収科目数が異なるので（昨年度の回答数は文化学科120、法律経済学科42、人文学部合計166）、増減ポイントはあくまでも参考である。

2. 分析結果

（1）まず、2021年度アンケートでは、「①授業形態」に関する項目を新たに設定した。結果をみると、全体の過半数（54.5%）がハイブリッド形式で行われ、次いで完全オンライン形式が25.5%であった。今回のアンケート結果は、このように、完全オンラインからハイブ

リッドへの移行はなされたが、以前の対面授業に戻りきれていない状況での授業内容、そして教員による工夫を示すものである。

(2)「②使用している教材・機器」についてみると、前年度と同様に「Moodle」の使用率が第1位であり、次いで「プリント」、「パワーポイント」、「パソコン」という順番である。これらの順番は昨年度と同じである。そして増減ポイントを見ると、ほぼ全ての教材・機器においてポイントが増加した。教員側としても、オンラインやハイブリッド形式の授業運営の経験を蓄積し、適応できるようになり、様々な教材・機器の使用をより積極的に進めたのでないかと推測される。

(3)「③取り入れている授業方法」をみると、採用率が最も高いのが「Moodle」であり、第2位は「学生を指名する」、そして「ディスカッション」、「リアクション・ペーパー」が続く。昨年度には減少が目立った「ビデオ・DVD」の増加ポイントが大きくなり、次に増加が大きいのは「リアクション・ペーパー」である。こうした結果から、教員側の工夫が読み取れる。

(4)「④試験・レポートの返却」についてみると、「返却しない」が最も多く(43.6%)、次が「全員に返却」である。昨年度と比較すると、「試験・レポートを課していない」が減少したが、同時に「返却しない」が増加した。ハイブリッド授業が主体となる状況で生じる一つの問題点を示しているように思われる。

(5)自由記述の「⑤学生の独習の意欲を向上させるための工夫」については、多数の様々な回答が寄せられた。全体を通してみると、これまでの報告書の内容と同様に、学習のための資料紹介、確認テスト(小テスト)、予習・復習を促す課題の提示、学生へのフィードバック、学生のプレゼンテーションやディスカッションの指導に関する内容が多く、さらにリアクションペーパーの活用を挙げた回答も目立つ。そして昨年度にオンライン授業への移行が生じて、Moodleの利用が一般化したために、その機能を積極的に活用することにより、学生・教員間の細かいやりとりで当たってきた例が相当数示された。

(6)「⑥休講について」をみると、全体の74.5%が「0回」、そして「1回」が21.8%、「2回」が3.6%である。前年度と比べると、「0回」のポイントが減少し、「1回」が増加した。また、休講ありと回答した場合について、その場合の措置をまとめると、「補講を行った」が14.3%、「補講に相当する措置をとった」が85.7%である。後者の場合には、様々な工夫がなされていることが分かる。

(7)最後の自由記述である「⑦昨年に比べて工夫したこと、改善したこと」についても、多数の回答があった。その多くは、前年度の完全オンライン授業から今年度のハイブリッド授業への移行により生じた工夫・改善を述べている。授業用の資料の見直しから、実際の授業の運営、学生とのコミュニケーション、そして授業後のフィードバックまで、色々な局面で工夫が求められた。特に、対面の学生とオンラインの学生の両者向けの同時教育のあり方、そのバランスのとり方を挙げた回答が多かった。昨年度から続く授業方式の大きな変化の中で、教育の質を維持するために、各教員が工夫と苦闘を重ねてきたことが理解できる。

回答の集計結果、自由記述の内容(抄録)を以下に示す。今後の授業運営の参考にさせていただきたい。

①授業の形態

	対面	完全オンライン	ハイブリッド	不明
人文学部 110	6 5.5%	28 25.5%	60 54.5%	16 14.5%
文化学科 77	3 3.9%	21 27.3%	43 55.8%	10 13.0%
法律経済学科 31	3 9.7%	6 19.4%	16 51.6%	6 19.3%

注) 人文学部の数値には、両学科に所属しない教員の授業を含む。
以下、表Ⅲ-5まで同様。

②授業で使用している教材・機器

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人文学部 110	33 30.0%	76 69.1%	38 34.5%	23 20.9%	2 1.8%	64 58.2%	48 43.6%	10 9.1%	98 89.1%	4 3.6%
増減ポイント	+1.7	+5.2	+4.4	+8.2	+1.8	+2.8	+3.8	+4.3	-3.1	-3.6
文化学科 77	20 26.0%	55 71.4%	25 32.5%	16 20.8%	0 0.0%	41 53.2%	34 44.2%	9 11.7%	70 90.9%	2 2.6%
増減ポイント	+1.8	+2.2	+0.8	+6.6	0.0	-1.8	-2.5	+6.7	-3.3	-4.9
法律経済学科 31	13 41.9%	21 67.7%	13 41.9%	6 19.4%	2 6.5%	21 67.7%	14 45.2%	1 3.2%	26 83.9%	2 6.5%
増減ポイント	+1.4	+12.9	+13.3	+9.9	+6.5	+15.3	+21.4	-1.6	-1.8	-0.6

注) 表中の1~10は次の通り。1.教科書、2.プリント、3.参考書、4.ビデオ・DVD、5.OHP、6.パワーポイント、7.パソコン (6以外)、8.実物または模型、9.Moodle、10.その他

項目 10「その他」の記載内容 (類似内容 (複数回答) については要約)

文化学科

ZOOM のブレイクアウト機能

法律経済学科

SPSS を使用し多変量解析の実習を行っている / Zoom による演習の運営

③取り入れている授業方法

表Ⅲ-3 取り入れている授業方法（単位：授業数、複数回答可）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
人文学部	60	23	3	4	7	57	40	42	102	30	9
110	54.5%	20.9%	2.7%	3.6%	6.4%	51.8%	36.4%	38.2%	92.7%	27.3%	8.2%
増減ポイント	-2.7	+7.6	+2.7	+2.4	+1.0	+4.8	-0.9	+5.7	+3.5	+3.8	-2.0
文化学科	49	18	0	2	3	42	27	25	72	20	0
77	63.6%	23.4%	0.0%	2.6%	3.9%	54.5%	35.1%	32.5%	93.5%	26.0%	0.0%
増減ポイント	-1.4	+8.4	0.0	+0.9	+0.6	+2.8	-3.2	+3.3	+1.8	+6.0	-7.5
法律経済学科	9	5	3	2	4	13	11	15	28	9	8
31	29.0%	16.1%	9.7%	6.5%	12.9%	41.9%	35.5%	48.4%	90.3%	29.0%	25.8%
増減ポイント	-2.0	+9.0	+9.7	+6.5	+1.0	+13.3	+6.9	+7.9	+9.3	-4.3	+6.8

注) 表中の1～11は次の通り。1.学生を指名する、2.ビデオ・DVD、3.現場見学・観察、4.実習・実地調査、5.ディベート、6.ディスカッション、7.（学生による）プレゼンテーション、8.リアクション・ペーパー、9.Moodle、10.小テスト、11.その他

項目 11 「その他」の記載内容（類似内容（複数回答）については要約）

法律経済学科

講義内容に関する実務家をゲスト講演者として招聘／中間レポート／Google のオンラインアンケートシステム、及び SPSS を用いた多変量解析の実習／毎回の課題として 200 字程度で Moodle に記述してもらおう／Zoom の投票、チャット／R やテキストマイニングなど様々なアプリケーションを用いた実習講義を行っている／当日新聞で取り上げられている講義関係記事の解説

その他

ペアでのインタビュー

④試験・レポートの返却

表Ⅲ-4 試験・レポートの返却（単位：授業数）

	全員に返却	希望者に返却	返却しない	試験・レポートを課していない
人文学部	24	19	48	19
110	21.8%	17.3%	43.6%	17.3%
増減ポイント	-0.4	+1.6	+3.8	-5.0
文化学科	16	15	34	12
77	20.8%	19.5%	44.2%	15.6%
増減ポイント	+1.6	+2.8	+5.0	-9.4
法律経済学科	6	4	14	7
31	19.4%	12.9%	45.2%	22.6%
増減ポイント	-4.4	-1.4	0.0	+5.9

⑤学生の独習の意欲を向上させるための工夫(抄録、類似内容(複数回答)については要約)
文化学科

- ・二回のレポート提出で受講者の関心を高めるとともに、授業の理解度を把握している。
- ・グループワークのテーマは、受講生の問題関心を事前にアンケートで把握したうえで決定している。
- ・教材や資料などを紹介している。
- ・小テストで学習状況を確認している。
- ・資料の事前提示。リアクションペーパーを利用し、疑問点を解消していく。
- ・発表担当者以外の受講者に質問票の提出を義務づけ、疑問をもって授業に臨むよう義務づけている。
- ・自己の問題意識の発見を促すよう、テキストを学生自身によって選択させている。
- ・毎回授業への質問・感想を書いてもらい、それに対して回答。
- ・授業中に数名の学生に発言させ、その意見をふまえ全員が授業後にリアクションペーパーを書くことで、各自の意見を発展させる工夫をしている。
- ・ファザー・リーディングスを紹介している。
- ・1名につき2回発表を行わせ、その際、必ず先行研究等を調べてくるよう指示している。
- ・学生が少人数のため、事前にそれぞれの専門分野や関心のあることを聞き取りし、ディスカッションの際には各自の専門に即したコメントを引き出せるように質問を工夫している。
- ・毎回の講義内容に関連のある作品や関連論文を紹介し、なるべく実際に読めるようにURL等を提供する。また、毎回講義内容に即して考える課題を講義後に課し、次回にフィードバックを行っている。
- ・予習および宿題を課している。
- ・毎回の授業で、授業の内容を踏まえて考えることを求める課題を課し、次回の授業で全体の回答傾向等を説明した。
- ・試験において、自分で考えさせる問題を課している。
- ・毎回コメントペーパーを書かせています。
- ・予習課題を毎回課し、moodle上のフォーラムに感想コメントを書いてもらった。次回の授業で要点確認クイズを行なった。
- ・毎週のレスポンスシートで学生の意見に必ず身を通し、授業の中で言及して、その学生と対話をする。
- ・理解を深めたり、自身の経験と関連させる質問をする。
- ・グループでゼミ論文を作成させ、ピア評価をさせて修正のうえ、完成版を提出させる。
- ・教科書を活用して予習・復習を促す。
- ・授業内容に関連する映像資料やホームページを紹介する。
- ・新書版を教科書にして、期末レポートでは各自の担当箇所以外も考察に含めるように指導した。
- ・毎回の授業の最後に小テストをおこない、次回の授業冒頭で学生の回答を紹介し、復習に

役立てている。また、質問やコメントもあわせて紹介、応答している。

- ・資料の紹介。Moodle 内で、質問に対しての応答。2 回のレポート作成など。
- ・リアクションペーパーに対し、授業のはじめの 30 分ほどを割いてフィードバックを行う。
- ・毎回リアクションペーパーを課すと学生の負担になるので数回に一度は小テストを織り交ぜる。
- ・毎週予習範囲を指定し、指名して訳文を発表してもらう。原典講読は基本的に 2・3 年生には難しいので、今学期の授業では邦訳を配り、該当する部分を訳すと同時に文法的に詳しく説明してもらった。テキストは飽きが来ないように誰が読んでも面白いと思うものに設定し、読みどころの箇所だけ抜粋して読んでもらった。
- ・ペアでプロジェクトに取り組ませる。学生同士でプレゼンの評価をさせる
- ・授業内での参考書の紹介、授業外でのドイツ語に関する疑問発見と討論
- ・参考書の紹介、提出した課題のフィードバックと全体討論、言語に関する日常の疑問点についての討論
- ・教材や資料等を紹介している。終盤で、最終課題のレポートの構想・下書き段階からの相互批評を取り入れている。
- ・復習のための小テストを実施、グループ学習でワークシート作成と発表により、双方向の指導をしている。
- ・毎回授業の復習テストを行い、授業理解のセルフチェックに役立てている。演習問題を多く取り入れて、予習でやったあと、授業で意見交換して定着を図る。

法律経済学科

- ・小テストを課している。また、予習課題と復習課題を掲載している。
- ・毎回具体的な課題を出して、次回の議論の準備をさせる。
- ・单元ごとに復習がわりの確認問題を出している。
- ・各テーマ毎に参考文献・動画を紹介している。
- ・単元の終了ごとにレポートを課し、復習による知識定着と、参考文献を用いた発展的な学習を促している。
- ・学生それぞれに目を配りレポートなどの指導を行った。
- ・講義中に、関連分野の学習に役立つ文献のみならず、Web サイト等の紹介なども取り入れている。
- ・講義に関連する事象についてのレポートなどを課している。
- ・関連する書籍およびニュース配信社公式 YOUTUBE サイトを提示
- ・授業内容に関する参考資料を Moodle 経由で提供している
- ・講義の都度指名し講義テーマについて議論している。プレゼンテーションの内容について議論している。実際の企業やブランドについて言及し、今日の企業活動や消費者動向について具体的に議論している。就職活動やその後のキャリアなど、受講者自身に関わる事案と紐付けて講義を展開している。
- ・毎回対面による議論を行い充実した講義内容としている。

- ・毎回の課題で、受講生本人の考えを聞く内容をお願いしている。
- ・演習の際には学生同士の質疑応答をさせるとともに、私からの質問に答える形で双方向の演習を行っている。
- ・小テストで学習状況を確認している。復習用に講義の動画を記録し、Moodle上で公開している。
- ・毎回の講義でMoodleを利用して小テストをおこなっている。小テストによって学習状況を確認し、わからないと指摘されたことについては、学生にメールで確認し、メールで分からない点を補足するメール指導をしたり、次回の講義で復習を行っている。Zoomの投票を用いて、地域経済や経済に関係する内容について、毎回の講義で認知度などを確認し、解説をしている。チャットでは講義の感想や質問を書いてもらい、それに、すべて対応している。
- ・発表などを学生に行ってもらい、個別指導を行っている。
- ・Moodleを用いて質問を確認し、対応している。また、Moodleやメールを用いて、プレゼンテーション用のパワーポイントについて指導を行っている。
- ・毎回提出されるコミュニケーションペーパーについて、質問が記入されているものに対しては教員の回答を記載したプリントを作成（感想について教員がフォローする必要があると判断したものはそれも含む。）し、次回講義時に配布（対面）、Moodle掲載（オンライン）した。
- ・2名しかいないので、交互に当てて積極的な意見表明を促している。
- ・テーマ毎に様々な参考書を紹介している。中間試験とその解説を行うことにより、学生に自らの学習状況を見直す機会を設けている。
- ・教材を毎週読み進める方式を一部で導入した。

その他

- ・学生の興味、関心のある教材を選ばせる。グループで協働学習を行う
- ・協働学習、動画を使っての反転授業

⑥休講について

表III-5 休講回数（単位：授業数）

	0回	1回	2回	3回	4回以上
人文学部	82	24	4	0	0
110	74.5%	21.8%	3.6%	0.0%	0.0%
増減ポイント	-11.0	+9.8	+1.2	0.0	0.0
文化学科	58	17	2	0	0
77	75.3%	22.1%	2.6%	0.0%	0.0%
増減ポイント	-11.4	+10.4	+0.9	0.0	0.0
法律経済学科	22	7	2	0	0
31	71.0%	22.6%	6.5%	0.0%	0.0%
増減ポイント	-10.0	+8.3	+1.7	0.0	0.0

表Ⅲ－6 休講に対する措置（単位：授業数）

	補講を行った	補講に相当する措置をとった
人文学部	4	24
	14.3%	85.7%
文化学科	2	17
	10.5%	89.5%
法律経済学科	2	7
	22.2%	77.8%
注) 総数は休講回数1回以上の授業。		

補講に相当する措置の記載内容（類似内容（複数回答）については要約）

文化学科

授業 1 回分に相当するレポート課題を課した／自己の問題意識を深めるためのテキスト選択を求めている／参考図書を示している／課題を示している／学生に課題を提出させた／レジュメを作成し、提示している。小説を読んでもらうように宿題を課す／読むべき資料を Moodle 上にアップ／授業外でデータ収集させている

法律経済学科

読むべき資料を提示している／レポートを課している／代替措置として読むべき資料を提示している／演習とは別に課題を提示して、それに対する回答をしてもらう

⑦昨年に比べて工夫したこと、改善したこと（抄録、類似内容（複数回答）については要約）

文化学科

- ・ 授業に変化をつけるため、資料・PPT・ホワイトボードを併用した。
- ・ 配布（掲示）資料の充実を図った。
- ・ 例年よりも受講者が多かったため、授業への参加が消極的なものにならないようするため、輪読のテキストの冊数を増やしたり、分担を細分したりすることで、一人当たりの発言回数を増やした。
- ・ 前年度の完全オンラインと異なるハイブリッド方式で実施したので、オンラインの学生と対面の学生で受講環境に大きな差が生じないように配慮し、対面でも Moodle を併用する形式にした。
- ・ 対面推奨授業だったが、受講生全員が非対面を希望したので、完全オンラインでの実施となった。受講生が少なかったため、受講生同士がディスカッションしやすい雰囲気を作ることを優先した。
- ・ 授業中に数名の学生に発言させ、その意見をふまえて全員が授業後にリアクションペーパーを書くことで、各自の意見を発展させる工夫をした。

- ・1名につき2回発表を担当させ、毎回2名ずつの発表体制としたことにより、学生間の議論がより活発となった。
- ・はじめに本時の内容を示し、最後に各回の学習ポイントを示すようにした。
- ・調査した結果が不十分であっても、まずはその調査作業の過程を認め、最低一つは良い点として評価するようにした。
- ・学習ポイントを各項目ごとに示すようにした。
- ・ハイブリッド授業での開講となったため、ディスカッションへの参加が教室内の学生に偏らないよう、部分的に指名も行うようにした。
- ・見やすいPowerPoint画面の作り方を学んで改善した。
- ・プリントにあげている史料を再確認し、授業中に文献学で気を付けるべきことを丁寧に説明した。学問の性質についても繰り返し説明した。
- ・ネット上のいくつかのデータベースをZoomで画面共有しながら検索し、読んでいる史料とその元データ、あるいは異なる史料を比較し、史料の性質を議論した。こうすることで史料への理解が深まり、読解力も向上したと考える。
- ・ハイブリッド授業になり対面受講学生がいることから、オンライン受講の学生にも伝わるような明るい雰囲気、意見を言いやすい環境作りにつとめた。
- ・授業の中で学生を指名して簡単な問いに答えてもらうことにより、双方向性の維持に配慮した。
- ・ハイブリッド授業のため、対面出席者だけではなくオンライン出席者にもなるべく発言してもらおうよう努めた。
- ・より新しい情報の提供と最近起こった環境事例の紹介と解説を行っている。
- ・昨年度はオンラインだったが、今年度はハイブリッドで実施した。実際には教室での受講生は少なく、ハイブリッドという形態がどの程度有効だったのか、明確ではない。
- ・昨年度はオンラインだったが、今年度はハイブリッドで実施した。学生に発表してもらって質疑応答を行う授業であるため、ある程度（全員ではなくても）教室での受講生がいた方が、授業はスムーズに運営できると思った。
- ・昨年とほぼ同様の形式で行なったが、ハイブリットとなり、グループ学習のメンバーの割り振りを対面とオンラインで分ける工夫が必要だった。
- ・（結果的にはハイブリッド授業を希望する学生がいなかったので実施しなかったが）いつでもハイブリッド授業に移行できるよう準備した。
- ・質問やペーパーへのコメントなど、学生との対話を増やすようにした。
- ・去年はコロナ対応のため呼べなかったが、今年は外国人のゲストスピーカーに出身国に関する講義を1回お願いすることができた。
- ・オンライン授業のためDVDの映像を見せるのを諦めていたが、今年度はインターネット上のニュース動画などを紹介して代替した。
- ・オンラインで演習を行うにあたり、講読テキストを全員共通にすることで学生の参加意識が高まったと思う。
- ・小テスト課題を課し、学習状況を確認した。・レポート課題を受講者の主体性や独創性が

要求されるものにした。

- ・授業で得た知識を応用する課題を取り入れた。
- ・ハイブリッド形式であるため、オンライン参加者が黒板を見やすいように、板書の文字の大きさやカメラの位置などに注意しながら授業をおこなった。
- ・Moodle をより頻繁に使用し、学生の提出物へのフィードバックを増やすようにした。
- ・Moodle 各回の授業の振り返りに記入された質問事項について、翌週の冒頭で解説を加える時間を昨年以上に確保するようにした。
- ・今回もオンライン授業だったので、一方通行にならないように、なるべく学生を指名して、授業内での学生とのやりとりを行った。
- ・他の授業にも言えることだが、リアクションペーパー等に対するフィードバックを丁寧に行うこと。一方通行になりがちな対面授業よりも学生は「担当されている」「見てもらっている」感覚を持つようだ。また、字数自由のリアクションペーパーの作成によって学生の理解が深まっている手応えもある。一方で、毎回リアクションペーパーを執筆するのは負担になるので、数度に一回「ガス抜き」的に簡素な小テストを行い、それをもって課題に代えること。
- ・昨年同様に、テキストの PDF ファイルをズームを通して画面共有し、書き込みを行いながら解説した。完全オンライン授業だったので、学生に指名し発言を促すことに躊躇することもなかった。能率の点と発言しやすさの点で圧倒的にオンラインに利がある。
- ・参考資料の数を増やした。
- ・ハイブリッド授業に対応するため、Zoom と教室の両方で、板書代わりのパワーポイント資料や実物資料の見せ方を工夫した。対面参加の学生が対面で良かったと思えるような話しかけや授業構成を心がけた。
- ・ハイブリッド方式に対応するために、オンライン参加の学生と対面参加の学生が、リアルタイムでディスカッションしやすい仕組みや雰囲気を作る努力をした。対面の学生には、できるだけ図書館に行って資料を探す課題を与えるようにした。
- ・ハイブリッドで、グループワークを対面学生と、オンライン学生とで分けて行った。人数調整が課題である。
- ・卒論の書き方等について、昨年よりさらに詳しい説明を行った。

法律経済学科

- ・講義内容に関連する新聞記事を掲載した。
- ・課題の量を適切なものに見直した。オンライン授業による学生の疲労が著しいため。
- ・教室受講者とオンライン受講者の授業への意欲差みたいなものが生じない様に留意した
- ・昨年度はオンライン対応で急遽パワーポイントを使用することにしたが、その内容は、よりわかりやすく伝えるために改善の余地があったので、見直しを行った。
- ・昨年は全面オンライン（しかもオンデマンド）だったものを、ハイブリッドに対応したものにする努力をした。しかし、オンライン受講の学生に対応する資料作り（PowerPoint スライド）に偏ってしまったため、対面で受講する学生にメリットのある講義にすること

が十分できなかつた。

- ・健康不安や定期を購入していないなどの理由で大学に来る機会が減った学生への目配りを行った。
- ・Moodle での資料提供を前年比 1.5 倍に増加した。また今年は 5 月連休明け以降ハイブリッド形式となったが、対面受講者への配慮として、講義前後に直接学生に話しかけるようにした。結果として、毎回の受講者 85 名のうち、最大で 30 名が対面受講となった（ただし、平均は 20 名程度）。オンライン受講者に対しても、メール等での質問を受け付ける旨を何度も周知し、20 数名からメールでの質問等ももらった。
- ・オンラインに対応するため、関連する動画（ニュース配信社の公式 YOUTUBE など）のリンク提示と、視聴に基づく小レポート提出。
- ・ZOOM を使った民間企業へのヒアリング調査
- ・ハイブリッドのため、コミュニケーションを取りやすくするよう、ブレイクアウトルームで教員から積極的に質問を行った。
- ・昨年度から毎回、学生たちに受講後レスポンスを義務付け、それに対するリアクションを次の回の授業の序盤に行っているが、リアクションに時間がかかり、授業時間を圧迫するケースが生じた。そのため、今年度からは、質問形式のレスポンスや、他の受講生たちにとっても内容の理解に役立つコメントのみを選定し、授業内で紹介するように改良している。一方で、全員分のレスポンスについても、匿名化したデータを Moodle 上で共有している。
- ・200 字程度で書いてもらっている毎回の課題の回答状況を解説している。
- ・毎回、Moodle に感想・質問を記入してもらい、質問には次回の講義で丁寧に回答するようにした。復習用に、講義の動画を記録し、Moodle 上で公開するようにした。
- ・対面で授業を行っている。
- ・コミュニケーションペーパーの回答は、昨年度後期の授業では講義資料のパワーポイントの前のほうに書いていたが、あまりにも回答量が多くなったので、講義資料とは別のワードファイルを作成し、そこに書くことにした。
- ・新聞記事の発表や現地視察だけでは考える力の習得に限界があると考えられたので、社会保障に関する本を 1 冊、毎回部分的に読んで意見を言い合う回を設けるようになった。
- ・ハイブリッド授業であったため、内容がより伝わりやすいように、資料及び説明の仕方を改善した。
- ・資料の枚数を減らして、ポイントを絞って説明するようにした。
- ・学生からのニーズにこたえて、教科書を指定し、それについて読み進めて議論する回を設けた。

その他

- ・グループ学習のメンバーを話しやすいメンバーにした
- ・グループ学習を複数行ったが、できるだけ異なるメンバーで組み替えて行った

IV. 大学院に関するFD活動

本年度の大学院教育のFD活動としては、毎年実施している大学院生による「授業のためのアンケート」、本大学院の組織的な授業である「三重の文化と社会」についての報告会と修士論文発表会に参加した教員へのアンケート、そして大学院教育（かつ学部教育）に関するFD研修会を行った。

1. 大学院生による「授業改善のためのアンケート」

大学院生によるアンケートは、従来から科目ごとではなく、当該年度に履修した全科目について総合的な意見を問うものとして、指導教員から学生に指示するように求められてきた。大学院生の場合、履修者が一桁である科目が大半を占めることから、匿名性の確保や自由な意見を述べる機会を確保するためには、本来的には学部生とは異なるアンケート形式が望ましいという事情がある。しかし、Webアンケート導入にともなって学部生と同様に各科目についてのアンケートを入力することになった。大学院教育の実態とアンケートのシステムを対応させることは、これまでの報告書で検討課題として指摘されてきたが、現状でも課題として残されている。

ここでは、アンケートの回答数の推移を示す。今年度のWebアンケートによる大学院生の回答数は前期が20名（のべ履修人数97名の中で、回答率は20.6%）、後期が7名（のべ履修人数92名の中で、回答率は7.6%）であった。2020年度の実績では、前期の回答数が36名（回答率は27.3%）、後期は0名であった。そして2019年度では、前期が8名（回答率7.7%）、後期が6名（5.8%）であった。

2. 「三重の文化と社会」報告会、修士論文発表会への教員の参加

大学院教育は基本的に指導教員との個別具体的な指導のもとで行われるが、本研究科では地域文化論専攻、社会科学専攻を横断し、一般の院生、社会人院生、および留学生院生と通じて地域連携型授業として「三重の文化と社会」という科目を修士1年次生の選択科目として開講している。また、修士論文発表会は、大学院教育の成果発表として公開で開催してきた。そして大学院FD活動として、「三重の文化と社会」の学内報告会および現地報告会、ならびに修了年次生による修士論文発表会への参加を教員に促し、アンケートを依頼した。

① 出席教員について

まず、3回それぞれの出席（アンケートに回答した）教員の内訳は以下の通りである。（）内の数字は、発表者の指導学生数を示す（内数）。

- ・「三重の文化と社会」学内報告会 地域文化論専攻 0名、社会科学専攻 2名（1名）
- ・「三重の文化と社会」現地報告会 地域文化論専攻 1名（0名）、社会科学専攻 0名
- ・修士論文発表会 地域文化論専攻 11名（1名）、社会科学専攻 6名（2名）、その他

1名(0名)

*合計:地域文化論専攻 12名(1名)、社会科学専攻 8名(3名)、その他 1名(0名)
計 21名(4名)

今回の「三重の文化と社会」報告会に出席した教員によるアンケート回答数が少数であったため、ここでは集計の対象外とする。修士論文発表会では、昨年度の出席者(アンケート回答者)は11名であったため、今年度は増加した。ただし、昨年度の修士論文発表会の発表者は、地域文化論専攻の学生のみであったという事情も影響しているようである。

② 発表内容について

大学院生の発表内容について、「レベルが高い」から「レベルが低い」まで5段階に分け、教員に感想を求めた。修士論文発表会については、全体的に「レベルが高い」と「ややレベルが高い」を合わせて3分の2に達する。修士課程の研究全体をまとめた修士論文が相応のレベルに達していることを示しているが、「どちらともいえない」と「ややレベルが低い」という評価もある程度みられる。

表IV-1 発表内容について

	レベルが 高い	ややレベルが 高い	どちらとも いえない	ややレベルが 低い	レベルが 低い	回答 総数
修士論文発表会	2	10	3	3	0	18
	11%	56%	17%	17%	0%	100%

③ 発表の形式について

修士論文発表会では、約6割の教員が「整っていた」と高い評価を与えており、「やや整っていた」と合わせると9割以上に達する。

表IV-2 発表の形式について

	整って いた	やや整って いた	どちらとも いえない	やや整って いない	整って いない	回答 総数
修士論文発表会	11	6	1	0	0	18
	61%	33%	6%	0%	0%	100%

④ 質疑について

修士論文発表会については、「充実していた」と「やや充実していた」を合わせて全体の8割近くを占めている。

表IV-3 質疑について

	充実して いた	やや充実 していた	どちらとも いえない	やや充実して いなかった	充実して いなかった	回答 総数
修士論文発表会	7	7	3	1	0	18
	39%	39%	17%	6%	0%	100%

⑤ 「三重の文化と社会」のあり方についての自由回答

(学内報告会)

・論文作成の練習をする、という意味では意義があるものとする。

(現地報告会)

・コロナ禍で現地調査が十分に行えなかったにもかかわらず、データ収集や文献調査、電話やzoomでの聞き取りなどを駆使して、学生はよくがんばって発表と論文作成までこぎつけたと思う。指導教員のサポートなしには、現地調査は難しい面が多いので、今後も卒論指導の前段階という位置づけで、この授業を活用していくのが望ましいと思う。

⑥ 「三重の文化と社会」の報告会についての自由回答

(学内報告会)

・先生方や他の学生が参加する中で発表準備を行うことができる、教育上大変有効な場だと思いました。

(現地報告会)

・名張市の関係の方々、特に今回は名張市長さん、調査に協力してくれた関係部署の職員、専門の担当の人からのフィードバックが多くもらったので、双方にとって意義があり、利益になっていると思う。学生として、このような地域に開かれた研究を経験することは、社会貢献を考える意味でも将来的にプラスに働くであると思う。

⑦ 修士論文／修士論文指導のあり方についての自由回答

・いずれの方もしっかりと指導を受けた研究成果を発表されていたと思います。ただ、一通りの形式は踏まえていましたが、学術的な視点、方法論、分析、分析に基づく考察という流れを十分に感じられない内容でした。1つでいいので、独自性のある、具体的な成果に結びつくような研究に高めていけると良いと思います。

・今回発表を聞いた学生についてはよく指導されているという印象を受けた。

・研究倫理 e ラーニングコース受講が修士論文提出の要件となっていますが、学生は研修を受けても捏造や盗用の意味を理解していない場合があります。指導する側も論文内容すべてに捏造や盗用がないかを確認することは困難です。e ラーニング以外に何かよい方法を考える必要があるとおもいます。また、各専門分野一名しか教員がいらないなか、修士論文指導グループ教員2名を探すのは学系縛りによってさらに困難になり、お願いするのはとても申し訳なく、指導以外にも気をつかう事が多くなってしまいます。せめて学系縛りだけで

も外せないでしょうか。

- ・残念ながら、学術的なレベルとしてはあまり高いとは言えないものであった。卒論とは次元の違う論文をまとめさせるような指導が必要だろう。
- ・もう少し、別の教員の参加があるとのぞましいと感じた。

⑧ 修士論文発表会のあり方についての自由回答

- ・参加人数にもよりますが、今回のような ZOOM での発表会の場合は、発表終了後の講評を待つ時間にブレイクアウトルームで発表者の部屋を作り、各々で自由にディスカッションできるようにしても良いと思いました。
- ・質疑応答の時間が5分では短すぎるように思えました。
- ・修士論文提出者は原則修士論文発表会を行うことにすべきだと考える。
- ・こういった最終的な発表会だけでなく、学部で学系単位で行われている途中での研究発表会みたいなのがあれば、もっと多くの院生が参加するかと思いました。
- ・日本人と留学生が同じ扱いになるのは仕方ないとおもいつつも、何か配慮が必要なのではないでしょうか。これでは留学生は発表しなくなってしまいます。
- ・今回はオンライン形式であったため、手元に資料がなく、スライドだけでは論旨を追いにくい面があった。予めレジュメを Moodle に掲載する等の工夫が欲しかった。
- ・もっと多くの教員に参加してほしいと感じた。
- ・研究（修論）自体を表彰対象とすると、発表に関し表彰するよりも研究意欲向上に効果的かもしれません。例えば研究受賞者が研究科全員に対して発表頂くというのはいかがでしょうか？

⑦ 大学院教育全般に関する意見

- ・来年度はどうなるのでしょうか？（入試応募者が少ないと聞いておりますが）（注.「三重の文化と社会」について）
- ・院生同士が、切磋琢磨して勉強を促進できるような環境づくり、発表の機会が多くあると良いと思う。
- ・3人指導体制の効果について、特に学生側からの感想やよかった点、を発信してもらいたい。すれば先生の方でも参考になります。また、分野を超えて、院生同士が自主的に学び合うようなゼミがあっても良いと思います。
- ・コロナ禍で留学生の入国が難しくなったことと関連して大学院進学者が減少していることへの対策が必要オンライン指導によりニーズを開拓できないものだろうか。
- ・各専門分野一名の教員で専門知識を身につけさせるのは、専門に近い科目も少なく容易ではありません。博士課程がない分、博士課程院生の代わりを教員がすることになり、負担も大きいので、学部改組にあわせて大学院についてもどのような教育が可能なのか考える必要があるとおもいます。

V. 教員による「FD活動に関するアンケート」

1. アンケートの概要

(1) 目的と方法

2022年1月に、来年度以降のFD活動をより有意義なものとするために、今年度のFD活動と今後に向けての要望等についてのアンケート調査をMoodleで実施した。そして追加のアンケート調査を3月に実施した。以下、アンケートの結果を合わせて示す。

(2) 質問項目

質問項目の大きな分類は次の通りである。①6月FD研修会について。②今後の大学院FD活動について、③学生授業アンケートについて、④教員による授業アンケートについて、⑤今年度のFD活動全般について。

2. 分析結果

概要

人文学部23名から回答を得た。昨年度は30名であった。昨年度同様、学科別の集計も行った。以下、回答内容の概要を記す。

6月FD研修会に関する興味等(「興味を持ってましたか」「役立ちましたか」)については、「大いに」と「やや」を合わせると、両者とも全体の8割以上を占めている。昨年度と回答傾向はほぼ同じで、今年度の研修会への高い評価がうかがえる。

自由記述の項目は多岐にわたる。6月研修会、今後の大学院FD活動、学生による授業アンケート、教員による授業アンケート、そして今年度のFD活動全般について、多くの意見が寄せられた。これまでのFD活動を肯定的に評価する意見がある一方で、研修会・講演会の運営について、テーマの設定について、アンケートの質問項目等について、多くの要望と提案がみられる。今後に向けて、このアンケート結果の活用が重要であろう。

①6月FD研修会

6月研修会：テーマ「2020年度授業アンケートの自己分析とそれにもとづく改善方法およびその他」

表V-1 興味をもてましたか

	計	大いに興味をもてた	やや興味をもてた	あまり興味をもてなかった	全く興味をもてなかった	わからない	不参加
人文学部	23	6	14	1	0	2	0
		26%	61%	4%	0%	9%	0%
文化学科	16	4	10	1	0	1	0
		25%	63%	6%	0%	6%	0%
法律経済学科	7	2	4	0	0	1	0
		29%	57%	0%	0%	14%	0%

表V-2 ご自身のFDに役立ちましたか

	計	大いに役立った	やや役立った	あまり役立たなかった	全く役立たなかった	わからない	不参加
人文学部	23	7	12	1	0	3	0
		30%	52%	4%	0%	13%	0%
文化学科	16	5	8	1	0	2	0
		31%	50%	6%	0%	13%	0%
法律経済学科	7	2	4	0	0	1	0
		29%	57%	0%	0%	14%	0%

研修会の内容、運営の仕方などについての自由意見

- ・他の教員のオンラインでの授業の工夫などを知ることが出来て勉強になった。
- ・研修会組織単位変更の試みは、意図はわかるものの、成功したとは言えない。特にオンラインでは難しかった。
- ・今後もこのようなFD研修会をよろしくお願いします。
- ・調査結果について、マクロ的な分析がされていたので、内容よくわかりました。

②今後の大学院FD活動について

自由記述

(1)「三重の文化と社会」学内報告会、同現地報告会、修士論文発表会でのアンケートについて

- ・「三重の文化と社会」への参加は以前にもFD活動とされたことがある。大学院生の研究を知るには良い面もあるが、「三重」と結びつかない学生はこの授業を履修しないだろうし、

教員自身の研究も「三重」とつながらない人が多い。そもそも人文学部大学院教育（研究テーマ）と「地域貢献」を結び付けられるこの科目は、かかわりのない教員には憂鬱な部分が多いので、大学院FDとして取り入れられるのもつらいものがある。

・参加教員が少なすぎる。大学院生を指導学生として持つ教員とそうでない教員とで、温度差が激しい。

・新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよるが、できるだけ現地報告会を行ってほしいです。

・今後もよろしく願います。

(2) 研修会や講演会で取り上げて欲しい大学院FDに関するテーマ

・オンラインによる大学院教育、修論指導について、近いうちに振り返り・分析・評価が必要だと思います。

・大学院生にいかに関研究倫理を教えるか。(e-learning 内容を指導教員は把握しておらず、院生がどのように考えて修論を執筆しているのかわからないため。)

・せっかくなので、人文学部と称している大学（例えば弘前大学とか島根大学とか）と、意見交換を含めたFDの場があってもよいのではないのでしょうか。

・中間的でもいいので、研究発表会のようなものがあると面白いかもしれません。

・大学院での研究方法論などがあれば、面白いと思います。

③学生授業アンケートについて

自由記述

・人文学部の学生にとっての、事前事後学習の時間の捉え方について、何を勉強時間と見なすか、いわゆる「机に向かっている時間」だけが勉強時間ではないということを学生に示すべきだと思います。

・四つの力の何がついたとつかないとか、全然意味が無い項目は消していただきたい。

・Moodleに事前に講義資料を掲載しても、確認している学生はごくわずか。事前・事後学習各120分というのは、いかに虚しい数字であるかを認識すべきだろう。その点で、演習を対象にしたのは前進。

・わりとどうでもよいと思っています。

④教員による授業アンケートについて

自由記述

・「昨年度からの改善点」を書く項目があり、無理して書いていますが、本当は書きようがありません。私は三年サイクルで講義をしているため、昨年度の授業内容とは異なる内容の授業をその年は実施しており、改善といわれても書きようがありません。演習も毎年異なる史料を異なる学生と読み進めますので、史料の性質と受講生のレベルに合わせた授業になるのが当然で、昨年度からの改善とは違います。

⑤今年度のFD活動全般について

自由記述

- ・講演会、研修会はタイムリーなテーマだったので、とても興味深かった。
- ・データサイエンスの研修会については大変期待したが、講演者が取り上げた内容が「初歩的」とは言えないものだったので、実際の授業の参考とまでは至らなかったように思う。データサイエンスの授業に関しては戸惑っている教員も多いと思われるので、門外漢の教員でも利用可能な内容の研修をしていただきたい。
- ・Zoomでの報告会は、報告者の準備状況によって、時間が大きく前後してしまいます。複数カリキュラム単位合同の研修会はメリットも多いのですが、前半の話が押して後半が時間不足になってしまいがちで、その点が残念でした。対面ならばもっと時間管理がしやすいのだろうと思います。
- ・インターンシップ、データサイエンスが悪いとは言わないが、人文学部（特に文化学科）が本来目指す教育からどんどん遠ざかっている感がある。文科省に迎合せず、真に学生のためになる教育への模索が必要。だがこれは、教員個人で取り組むしかないであろう。
- ・データサイエンスは現在の状況を知ることができ、とても勉強になりました。
- ・今後もよろしくお願いします。
- ・今年度は見送りとなりましたが、「障害学生に対する合理的配慮とは何か」について、FDで取り上げていただければと思います。
- ・どれも私にとっては有用でした。どの大学でもこのような内容のFDは行われていますが、その大学にはその大学独自の視点もありそうで、勉強になりました。

2021 年度人文学部 F D 委員会 年間活動

一、委員会の構成

委員長：前田定孝 委員：安食和宏、深井英喜

二、委員会の開催

- 第 1 回 F D 委員会 4 月 21 日 (水) オンライン開催、以下同様
- 第 2 回 F D 委員会 5 月 19 日 (水)
- 第 3 回 F D 委員会 6 月 16 日 (水)
- 第 4 回 F D 委員会 7 月 21 日 (水)
- 第 5 回 F D 委員会 9 月 15 日 (水)
- 第 6 回 F D 委員会 10 月 20 日 (水)
- 第 7 回 F D 委員会 11 月 17 日 (水)
- 第 8 回 F D 委員会 12 月 15 日 (水) (メール審議)
- 第 9 回 F D 委員会 3 月 23 日 (水)

三、F D 研修会の開催

6 月 F D 研修会 6 月 9 日 (水) 14:00~15:00

学科ごとに 2 グループ、合計 4 グループにして実施。オンライン。

テーマ：2020 年度授業アンケートの自己分析とそれにもとづく改善方法およびその他

内容：報告に基づく質疑応答と意見交換

四、F D 講演会の開催

9 月 F D 講演会 9 月 8 日 (水) 14:00~15:00

会場：オンライン (Zoom)

テーマ：教育的インターンシップについて

講師：野崎哲哉氏 (法律経済学科) 「教育的インターンシップの実施導入経緯ととりくみ上の課題」

麻野雅子氏 (法律経済学科) 「人文学部でのとりくみ」

五、F D アンケートの実施

(1) 学生による授業アンケート (前期・後期) の実施

ユニバーサルパスポートにより実施

(2) 教員授業アンケート (前期・後期) の実施

学生による授業アンケート期間に Moodle で実施

講義・演習のあり方や工夫等に関して尋ねるアンケート

(3) FD 活動総括アンケートの実施

年間を通じた FD 活動（研修会、講演会、授業アンケート等）に関して教員に意見を求めるアンケート。

六、大学院関係 F D 活動

(1) FD 研修会 11 月 10 日（水）14:00～15:00

会場：オンライン（Zoom）

テーマ：なぜ今、データサイエンスなのか？（大学院かつ学部の F D 活動）

講師：永崎研宣氏（一般財団法人人文情報学研究所・人文情報学研究部門主席研究員）

「人文学とデジタルの接点」

内容：講演に基づく質疑応答、討議。

(2) 大学院授業アンケートの実施

前期・後期アンケート期間に実施（ユニバーサルパスポート）

当該大学院生が履修した授業科目全体に関するアンケート

(3) 授業科目「三重の文化と社会」院生報告会（学内・現地）でのアンケート実施

1 月 18 日（火）学内発表会（オンライン）終了後に Moodle で実施

1 月 22 日（土）現地報告会（オンライン）終了後に Moodle で実施

(4) 修士論文発表会でのアンケート実施

2 月 28 日（月）修士論文発表会（オンライン）終了後に Moodle で実施

七、人文学部オンライン交流会の実施

コロナ禍における人文学部教員の孤立を解消するために、そして授業に関する情報交換を行うために、自由参加のオンライン交流会を実施。

第 1 回：4 月 28 日（水）12：10～

第 2 回：5 月 7 日（金）16：10～

第 3 回：5 月 24 日（月）10：30～

第 4 回：6 月 2 日（水）12：10～

第 5 回：6 月 24 日（木）14：30～

第 6 回：7 月 7 日（水）12：10～